



dtab Compact

d-01J

取扱説明書 '17.1

はじめに

「d-01J」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用前の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作説明

d-01Jの操作は、以下の方法で説明しています。

■「クイックスタートガイド」(本体付属品)

各部の名称と機能について説明しています。

■「取扱説明書」(本端末のアプリ)

本端末の機能や操作、画面表示などについて、詳しく説明しています。アプリ画面(P.43)で「取扱説明書」をタップすると起動できます。

- はじめてご利用になる場合は、画面の指示に従って、アプリのダウンロードとインストールを行う必要があります。
- 「取扱説明書」アプリを削除した場合、再度インストールするには、ホーム画面で「Playストア」→本端末の「取扱説明書」アプリを検索してダウンロードしてください。

■「取扱説明書」(PDFファイル)

本端末の機能や操作、画面表示などについて、詳しく説明しています。

以下のドコモのホームページよりダウンロードできます。

<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/d01j/index.html>

※ 最新情報がダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など続けて行う操作手順を簡略化して次のように表記しています。

＜例＞ホーム画面に表示されている田をタップし、アプリ一覧から「設定」を起動する操作手順＞

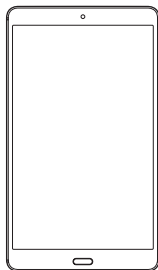
1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」

■お知らせ

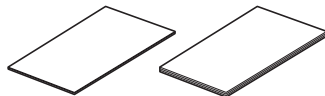
- 本書の本文中においては、「d-01J」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の操作手順や画面表示は、主に本端末のお買い上げ時の状態に基づいて記載しています。アプリやサービスなどを追加/変更した場合は、操作手順や画面表示が異なる場合があります。
- 本書で説明する操作手順や画面表示は、画面を縦向きに表示した縦画面表示に基づいて説明しています。
画面を横向きに表示した横画面表示の状態では、使用する機能やアプリによって、表示されるメニュー項目やアイコンが異なる場合があります。
- 本書に掲載している画面やイラストはイメージです。実際の製品や画面とは異なる場合があります。
- 本書は、端末色が「Gold」、ホームアプリが「docomo LIVE UX」の場合で説明しています。
- 本書では、操作方法が複数ある機能や設定については、操作手順がわかりやすい方法で説明しています。
- 本書で説明しているアカウントの登録方法やアプリの操作方法などは、登録先の都合やアプリのアップデートなどにより、事前の通知なく変更される場合があります。
- 本書の内容やホームページのURL、および記載内容は、将来、予告なしに変更する場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。

本体付属品

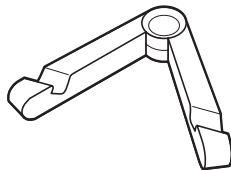
■ d-01J本体（保証書付き）



■ クイックスタートガイド／ご利用にあたっての注意事項



■ 自立スタンド（試供品）



■ カードスロットピン（試供品）



■ ドコモeSIMカード



※ お買い上げ時には、本端末のSIMカード／microSDカードトレイにあらかじめ取り付けられています。

本端末に対応するオプション品（別売）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。
<https://www.mydocomo.com/onlineshop/options/index.html>

目次

■ 本体付属品	1
■ 本端末のご利用について	3
■ 安全上のご注意（必ずお守りください）	4
■ 取り扱い上のご注意	12

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能	18
ドコモeSIMカード	19
充電	22
電源を入れる／切る	24
自立スタンド	25
基本操作	26
文字入力	29
初期設定	34
通知LED	34
画面表示／アイコン	35

docomo LIVE UX

ホーム画面の見かた	39
ホーム画面の管理	40
アプリ画面の見かた	43
アプリの管理	47
「おすすめ」アプリのインストール	48
すべてのアプリ表示	48
ホーム画面のバックアップと復元	48
マイマガジン	49
ホームアプリの情報	49

電話帳

電話帳	50
-----------	----

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール	54
メッセージ（SMS）	54
Gmail	56
緊急速報「エリアメール」	57
ウェブブラウザ	58

アプリ

dメニュー	62
dマーケット	62
Playストア	63
カメラ	64
ギャラリー	68
メディアプレイヤー	72
YouTube	73
GPS／ナビ	74
時計	76
カレンダー	79
メモ	82
音声レコーダー	83
電卓	84
トルカ	84
ドコモデータコピー	85

本体設定

設定メニューについて	87
無線とネットワーク	87
デバイス	97
プライバシーとセキュリティ	101
アカウント	104
アプリ	105
システム	107

ファイル管理

ストレージ構成	117
ファイル	120

データ通信

Bluetooth通信	124
-------------------	-----

外部機器接続

パソコンと接続する	127
-----------------	-----

付録／索引

トラブルシューティング（FAQ）	129
あんしん遠隔サポート	134
保証とアフターサービス	134
ソフトウェアアップデート	136
主な仕様	139
データ通信端末の比吸収率（SAR）などについて	141
GPL／LGPL適用ソフトウェアについて	143
輸出管理規制について	143
知的財産権について	143
SIMロック解除	145
索引	146

本端末のご利用について

- ・本端末は、LTE・W-CDMA・無線LAN方式に対応しています。
- ・本端末は、iモードのサイト（番組）への接続やiアプリなどには対応していません。
- ・本端末は、音声通話およびデジタル通信（テレビ電話、64Kデータ通信）には対応していません。
- ・本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用にならない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが  などの状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- ・本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- ・お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、定期的にメモをとったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され、不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分に確認の上、ご利用ください。
- ・本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットバック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ・お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。

- ・マナーモードを設定している場合でも、カメラのシャッター音や撮影開始音／終了音、スクリーンショット音はスピーカーから鳴りますので、ご注意ください。
- ・本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます（P.136）。
- ・端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後に、古いバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- ・紛失に備え、画面ロックを設定し、本端末のセキュリティを確保してください（P.103）。
- ・Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、その他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- ・利用規約などが表示された場合は、画面に従って操作してください。
- ・アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ・万が一紛失した場合は、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスや、SNSなどのサービスを他人に利用されないように、パソコンから各種アカウントのパスワードを変更してください。
- ・お客様の電話番号（自局電話番号）は、ホーム画面で  →「アプリ」タブ →「設定」→「タブレット情報」→「端末の状態」をタップして「電話番号」で確認できます。
- ・spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしていません。
- ・テザリングのご利用には、パケットバック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ・ご利用時の料金など詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- ・ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- ・microSDカードや内部ストレージの空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- ・市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{※2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{※3} の発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
- ※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. 本端末、アダプタ、ドコモeSIMカードの取り扱いについて（共通）	5
2. 本端末の取り扱いについて	6
3. アダプタの取り扱いについて	9
4. ドコモeSIMカードの取り扱いについて	10
5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて	11
6. 材質一覧	11

1. 本端末、アダプタ、ドコモeSIMカードの取り扱いについて（共通）



危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。
・電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。
・本端末の電源を切る。
上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意



破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。



湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。



乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。
アプリ、データ通信や動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

2.本端末の取り扱いについて

危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

内蔵電池内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
内蔵電池内部の物質などの影響により、失明などの原因となります。



指示

ディスプレイ内部の物質などが目や口の中に入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
ディスプレイ内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。



警告



点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。



本端末内のSIMカード／microSDカードトレイの挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、ドコモSIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。

航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。



大きな音で通知音が鳴っているときや待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると難聴などの原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。



心臓の弱い方は、バイブレータ（振動）や通知音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上でご利用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようにご注意ください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



注意



禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合には、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火による火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

ドコモeSIMカードの取り外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよう、カードスロットピンまたはペーパークリップの先端にご注意ください。

カードスロットピンまたはペーパークリップの先端に触れると、けがなどの原因となります。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。

⇒P.11「6.材質一覧」



指示

本端末のスピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

3.アダプタの取り扱いについて



警告



禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタに海外旅行用の変圧器（トラベルコンバーター）を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。

また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電源、電圧で使用するとう火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）



指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグについたほごりは、拭き取ってください。

ほごりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタをコンセントやアクセサリソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

使用しない場合は、アダプタの電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が入った場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いて行ってください。
抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。



注意



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態でアダプタに長時間触れないでください。
やけどなどの原因となります。

4. ドコモeSIMカードの取り扱いについて



注意



指示

ドコモeSIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
けがなどの原因となります。

5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて



警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

6. 材質一覧

使用箇所	材質／表面処理
ディスプレイ、アウトカメラレンズ	強化ガラス／シルク印刷
外装ケース（前面枠、背面枠）、電源キー、音量上／下キー	アルミニウム AL6063／ハイライト、陽極酸化処理
外装ケース（背面と側面）、SIMカード／microSDカードトレイのカバー、アウトカメラ枠	アルミニウム AL6063／サンドブラスト、陽極酸化処理
装飾用の帯（背面下部、側面上部と下部）	PBT+GF／NMT
背面上部の装飾部分（アウトカメラを除く）	PC+PMMA／背面印刷（Silver）、背面印刷+表UVマット（Gold）
背面ロゴ部分	アルミニウム AL6061／彫刻
SIMカード／microSDカードトレイ	ステンレス鋼／両面DLCメッキ、テフロンスプレー
SIMカード／microSDカードトレイの挿入口	アルミニウム AL6063／陽極酸化処理
指紋センサー	樹脂エポキシ／塗装処理
指紋センサー（リング）	ステンレス鋼／ハイライト
イヤホン端子（リング）	PBT+GF／なし
外部接続端子	アルミニウム AL6061／サンドブラスト、陽極酸化処理

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）をかけないでください。

本端末、アダプタ、ドコモeSIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

- 本端末に無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れるとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、破損、故障の原因となります。

- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

- オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定のオプション品以外を使用した場合、故障、破損の原因となります。

- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

- 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

本端末についてお願い

- タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
タッチパネルが破損する原因となります。

- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は35%～85%の範囲でご使用ください。

- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。

- 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。
そのままご使用ください。

- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はSIMカード／microSDカードトレイのカバーを閉じた状態でご使用ください。
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- 指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。
指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- 指紋センサーは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で清掃してください。
指紋センサーが汚れていたり表面に水分が付着していたりすると、指紋の読み取りができなくなり、認証性能の低下や誤動作の原因となります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどを本端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- 照度センサー部をフィルムやシールなどでふさいだり、汚したりしないでください。
照度センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。
照度センサーの位置は、以下をご参照ください。
⇒P.18「各部の名称と機能」

- 内蔵電池は消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。
本端末が内蔵電池の膨らみによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- 本端末を保管される場合は、次の点にご注意ください。
 - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。
- 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオンポリマー電池

アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

ドコモeSIMカードについてのお願い

- ドコモeSIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- ドコモeSIMカードは、対応端末以外で使用しないでください。
対応端末以外でのご使用は、保証の対象外となります。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモeSIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモeSIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- ドコモeSIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモeSIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモeSIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth[®]機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が利用する周波数帯は、次のとおりです。



- 2.4： 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- FH1： 変調方式がFH-SS方式であること、および想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
- DS4/OF4： 変調方式がDS-SS方式、OFDM方式であること、および想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- ■ ■ ■： 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
- 利用可能なチャンネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の利用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。

3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN (WLAN) についてのお願い

■ 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。

■ 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- ・ 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 本端末の5GHz帯使用上の注意事項

本端末に内蔵の無線LANを5.2/5.3GHzでご利用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

本端末が使用するチャンネルは次のとおりです。

- ・ W52 (5.2GHz 帯 / 36、40、44、48ch)
- ・ W53 (5.3GHz 帯 / 52、56、60、64ch)
- ・ W56 (5.6GHz 帯 / 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)

注意

■ 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。

ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「タブレット情報」 → 「認証情報」

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。

技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

■ 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。

運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

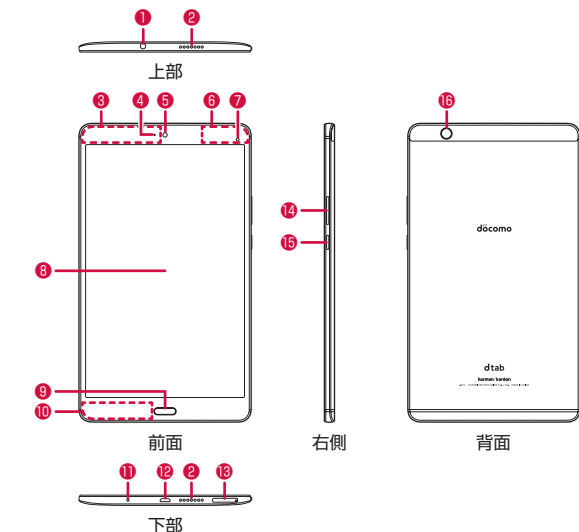
■ 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

■ データ通信中は、本端末を身体から15mm以上離してご使用ください。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



① イヤホン端子 (P.139)

② スピーカー

- 通知音や再生中の音楽などが流れます。

③ LTE/FOMAメインアンテナ部^{※1}

④ 通知LED

- 充電時やメール受信時などに光って通知します (P.34)。

⑤ インカメラ

- 静止画や動画の撮影などに使用します。

⑥ Wi-Fi/Bluetooth/GPSアンテナ部^{※1}

⑦ 照度センサー^{※2}

- 周囲の明るさを感知して、ディスプレイの明るさを調整します。

⑧ ディスプレイ (タッチパネル) (P.26)

⑨ 指紋センサー

- 指紋認証で画面ロックを解除するときなどに使用します (P.102)。

⑩ LTE/FOMAアンテナ部^{※1}

⑪ マイク

- 音声入力などに使用します。

⑫ 外部接続端子

- 充電時やパソコン接続時などに使用します (P.23、P.127)。

⑬ SIMカード/microSDカードトレイ^{※3}

- お買い上げ時にはあらかじめドコモeSIMカードが取り付けられています。

⑭ 音量上/下キー

- 通知音の音量や音楽の再生音量などを調節します。

⑮ 電源キー

- 電源のON/OFF、スリープモードの手動設定などに使用します (P.24)。

⑯ アウトカメラ

- 静止画や動画の撮影などに使用します。

※1 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと、通信の品質に影響を及ぼす場合があります。

※2 センサー部分に保護シートやシールなどを貼ると、センサーが誤動作する場合があります。

※3 SIMカードトレイはnanoUIMサイズです。

■ お知らせ

- 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。

ドコモeSIMカード

ドコモeSIMカードとは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードのことです。

- ドコモeSIMカードが本端末に取り付けられていないと、パケット通信などの機能を利用することができません。
- ドコモeSIMカードの取り扱いについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

■ ドコモeSIMカードの暗証番号について

ドコモeSIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（P.113）。

ドコモeSIMカードの取り付け／取り外し

お買い上げ時にはあらかじめドコモeSIMカードが取り付けられています。

ドコモeSIMカードを取り付ける／取り外すときは、必ず本端末の電源を切ってから行ってください。

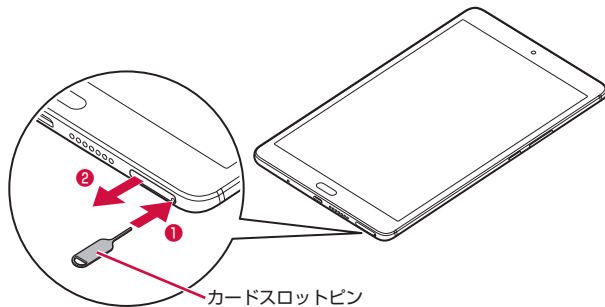
- SIMカード／microSDカードトレイの取り外しは、付属のカードスロットピン（試供品）をご使用ください。

取り付けかた

- 1 カードスロットピンをSIMカード／microSDカードトレイの取り出しホールに差し込み、矢印の方向にゆっくりと押し込む（①）

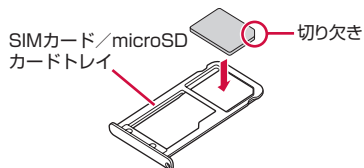
SIMカード／microSDカードトレイが押し出されます。

- 2 SIMカード／microSDカードトレイを引き出す（②）



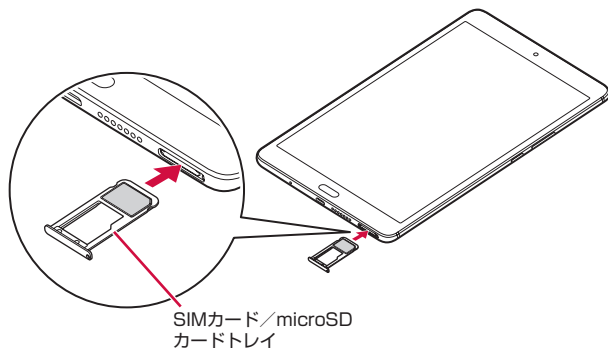
3 ドコモeSIMカードのIC面を下にしてSIMカード／microSDカードトレイに取り付ける

- 切り欠きの方向にご注意ください。



4 SIMカード／microSDカードトレイを本端末に差し込む

- 矢印の方向に水平に差し込んでください。
- カチッと音がするまでしっかりと押し込み、浮きがないことを確認してください。

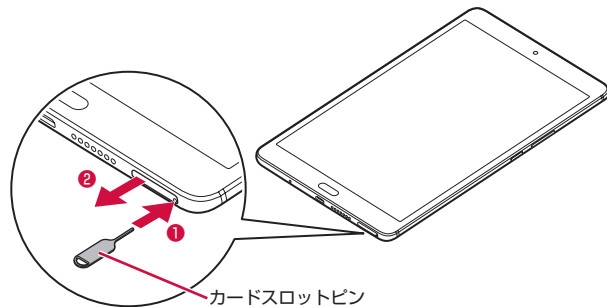


取り外しかた

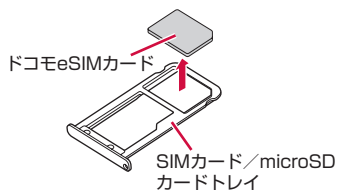
1 カードスロットピンをSIMカード／microSDカードトレイの取り出しホールに差し込み、矢印の方向にゆっくりと押し込む (1)

SIMカード／microSDカードトレイが押し出されます。

2 SIMカード／microSDカードトレイを引き出す (2)

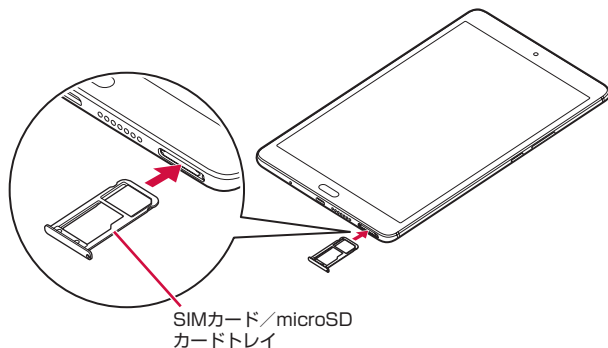


3 ドコモeSIMカードをSIMカード／microSDカードトレイから取り外す



4 SIMカード／microSDカードトレイを本端末に差し込む

- 矢印の方向に水平に差し込んでください。
- カチッと音がするまでしっかりと押し込み、浮きがないことを確認してください。



■ お知らせ

- ドコモeSIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモeSIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、ドコモeSIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- カードスロットピンを紛失した場合には、ペーパークリップでも代用できます。



ペーパークリップの例

充電

充電時のご注意

はじめてお使いになるときや、長時間お使いにならなかったときは、必ず充電してからお使いください。

- アプリを使いながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、電池残量が減り充電が完了しなかったりすることがありますが、本端末の異常ではありません。
- 充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- 充電時間については「主な仕様」をご覧ください (P.139)。

充電について

詳しくは、ご利用になるACアダプタ、DCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

ACアダプタ 05 (別売品)

- AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用 (国内仕様) です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用に変圧器を使用しての充電は、行わないでください。

DCアダプタ 04 (別売品)

- 自動車の中で充電する場合に使用します。

内蔵電池の寿命について

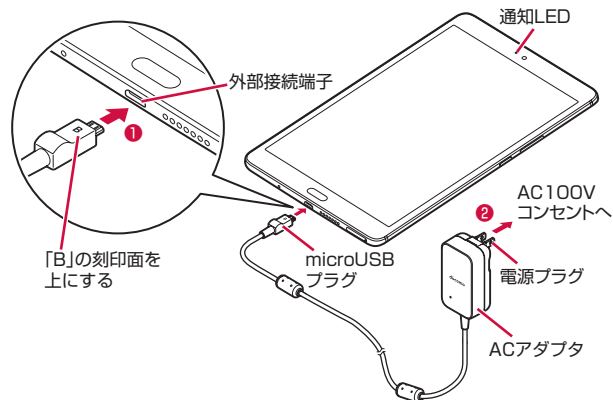
- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。充電しながら長時間使用すると、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。



Li-ion 00

ACアダプタを使って充電する

ACアダプタ 05（別売品）を使用して充電する方法を説明します。



- 1** 本端末の外部接続端子にACアダプタのmicroUSBプラグを、「B」の刻印面を上にして水平に差し込む（①）
- 2** ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む（②）
本端末の通知LEDが点灯します。
- 3** 充電が完了したら、コンセントからACアダプタの電源プラグを抜く
- 4** 本端末の外部接続端子からACアダプタのmicroUSBプラグを水平に抜く

パソコンを使って充電する

USBケーブル A to B 01（別売品）などを使って、本端末をパソコンから充電することができます。

- パソコンとの接続方法については、「パソコンと接続する」（P.127）をご参照ください。
- パソコン上に行う動作の選択画面などが表示されたら、「×」などを選択して画面を閉じてください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源キーを2秒以上押す

はじめて電源を入れたときは、初期設定を行います (P.34)。

2 画面ロックを解除する

画面ロックの解除方法については、「画面ロックを解除する」(P.25)をご参照ください。

■ お知らせ

- 電源を入れてからホーム画面が表示されるまでに、1分以上かかる場合があります。
- 電源キーを押した後、本端末の反応がない場合は、充電が不十分な場合があります。充電完了後、再び操作を行ってください。

電源を切る

1 電源キーを1秒以上押す

2 (電源を切る) → (タップして電源をOFF)

電源キーを1秒以上押したときのメニュー

電源キーを1秒以上押すと、次のメニューが表示されます。

項目	説明
機内モード	P.87
音／バイブ／サイレント	マナーモードを設定／解除します (P.99)。
再起動	本端末を再起動します。
電源を切る	P.24

スリープモード

スリープモードにすると、画面が消灯してタッチパネルの誤動作を防止したり、画面ロックをかけたりします。

1 電源キーを押す

スリープモードを設定／解除できます。

■ お知らせ

- 本端末を一定時間操作しなかった場合でも、自動的にディスプレイの表示が消えてスリープモードの状態になります (P.97)。

画面ロックを解除する

<例:「画面ロックとパスワード」(P.102)で「画面のロック」を「タッチ」に設定している場合>

1 ロック画面で

- ロック画面のアイコンをタップしてカメラやしゃべってコンシェルを直接起動することもできます。
- 「画面のロック」で「タッチ」または「なし」以外の解除方法に設定している場合は、をタップした後に設定した解除方法を入力します。
- 指紋IDを設定している場合は、指紋認証で画面ロックを解除できません (P.102)。

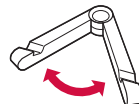
自立スタンド

自立スタンド（試供品）に本端末を立てて利用することができます。

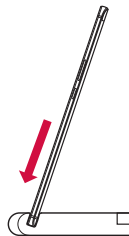
- 自立スタンドは平らな場所に設置してご利用ください。

1 自立スタンドの足部分を左右に開く

- 止まるところまで完全に開いてください。



2 自立スタンドを押さえながら本端末を自立スタンドのミゾに差し込む



■ お知らせ

- 本端末を横向きにして自立スタンドをご使用の際は、電源キーが押されないようにしてお使いください。
- 自立スタンドを開閉する場合は、指やUSBケーブル A to B 01（別売品）などを挟まないようご注意ください。
- 本端末を自立スタンドに立てた状態で操作する場合、強い力でタップなどの操作を行うと、自立スタンドおよび本端末が倒れるおそれがありますので、ご注意ください。

基本操作

タッチパネルの使いかた

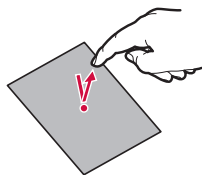
本端末のディスプレイは、指で直接触れて操作するタッチパネルとなっています。タッチパネルは、触れかたによってさまざまな操作ができます。

タッチパネル利用上のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面にのせたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼った操作

タップ／ダブルタップ

項目やアイコンに軽く触れて指を離します。2回続けて同じ位置をタップする操作を、ダブルタップと呼びます。



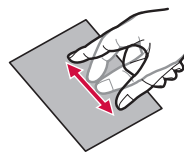
フリック

ディスプレイを指ですばやくはらうように操作します。



ピンチ

ディスプレイに2本の指で触れたまま、その指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。画像などを拡大／縮小するとき 사용합니다。



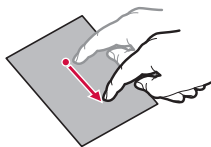
スライド（スワイプ）

ディスプレイに軽く触れたまま、目的の方向になぞります。



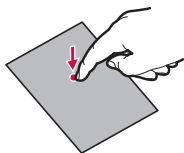
ドラッグ

アイコンなどに軽く触れたまま、目的の位置までなぞります。



ロングタッチ

メニューが表示されるなど、目的の動作が起こるまでアイコンやキーなどに長く触れます。



■ お知らせ

- 確認画面などポップアップの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタップすると、操作が中止されることがあります。

ジェスチャーの使いかた

本端末のインカメラに向かってジェスチャー動作をすることで、音楽の再生／一時停止などを画面に触れずに操作することができます。

- ジェスチャーを利用する前に、ホーム画面で「ジェスチャー操作設定」→「ジェスチャー操作設定」の  をタップしてONにする必要があります。
- ジェスチャー操作は、対応アプリでのみ動作します。ジェスチャーが利用できるアプリでは、ステータスバーに  が表示されます。
- ソフトキーの  操作などで「ジェスチャー操作設定」アプリを終了すると、ジェスチャーを利用できません。
- 次の操作が利用できます。

アイコン	操作	説明
	スクロール／ボリューム	インカメラに向かって手のひらを開いて、ゆっくり上下に動かすと画面のスクロール、または音量の調節ができます。
	スワイプ	インカメラに向かって手のひらを開いて、左右に動かすと音楽や動画の再生／一時停止時に前後のデータに移動できます。
	グラブ	インカメラに向かって手のひらを開いて、拳を握る(グラブ)動作をすると、音楽や動画などの再生／一時停止の操作ができます。
	ミュート	インカメラに向かって人差し指を立て、口もとに運ぶと消音します。

■ お知らせ

- 対応アプリやジェスチャー操作について詳しくは、ホーム画面で「ジェスチャー操作設定」→「使い方を見る」をタップして、ジェスチャー操作の使い方をご確認ください。

ジェスチャーアシストを表示する

ジェスチャーが利用できるアプリで、どの操作が利用できるかをアイコンで表示します。

1 ホーム画面で「ジェスチャー操作設定」→「ジェスチャーアシストの表示」の をタップしてONにする

- ジェスチャーが利用できるアプリを起動すると  と利用可能なジェスチャーのアイコンが表示されます。ジェスチャーを認識するとアイコンに色がつきます。

■ お知らせ

-  をタップすると利用可能なジェスチャーのアイコンを表示／非表示できます。

設定を切り替える

設定項目にラジオボタンなどが表示されているときは、タップすることで設定のON（有効）／OFF（無効）を切り替えることができます。

-  や  はON（有効）、 や  はOFF（無効）の状態です。

ディスプレイの表示方向の自動切替を設定する

本端末の向きや傾きを感知して、ディスプレイの表示方向が自動的に縦／横に切り替わるように設定できます。

1 クイック設定パネル（P.38）を表示する

2 「縦向き」／「横向き」

- 本端末の画面を縦向きにしている場合は「縦向き」（縦画面の固定）、横向きにしている場合は「横向き」（横画面の固定）と表示されます。
- 設定がONになると「自動回転」と表示されます。タップするたびにON/OFFが切り替わります。

■ お知らせ

- 機能やアプリによっては、表示方向が自動的に切り替わらない場合があります。

スクリーンショット

表示している画面を画像として保存することができます。

1 スクリーンショットしたい画面で電源キーと音量下キーを同時に1秒以上押す

- スクリーンショットが保存され、ステータスバーに  が表示されます。ステータスバーを下にドラッグして通知をタップするか、ギャラリー（P.68）で画像を確認できます。

■ お知らせ

- 機能やアプリによっては、スクリーンショットが保存できない場合があります。

アプリの権限を設定する

本端末の機能や情報にアクセスするアプリなどを初めて起動すると、アクセスを許可するかどうかの確認画面が表示される場合があります。

許可をすると本端末の機能や情報を利用できるようになります。

<例：「カレンダー」アプリを初めて起動した場合>

1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「カレンダー」

確認画面が表示されます。

2 「許可しない」 / 「許可」

■ お知らせ

- アプリや機能によっては、説明画面が表示される場合や確認画面が複数回表示される場合、表示が異なる場合があります。画面の指示に従って操作してください。
- 「許可しない」を選択すると、アプリや機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「アプリ」 → アプリを選択 → 「権限」をタップすると、権限の設定を変更できます。

文字入力

文字を入力するときは、画面に表示されるキーボードを利用したり、音声による入力も利用できます。

入力方法には、次の4種類があります。

入力方法	説明
Googleキーボード	英数字・記号のみ入力する場合に選択します。 日本語入力はできません。 画面から指を離さずなぞるようにして入力するジェスチャー入力に対応しています。
iWnn IME	日本語を入力する場合に選択します。お買い上げ時の入力方法です。
ドコモ文字編集	音声で文字を入力する場合に選択します。
Google音声入力	

■ お知らせ

- 使用状況によって各キーボードの表示や動作が異なる場合があります。また、利用するアプリや機能によっては、専用のキーボードが表示される場合があります。

デフォルトのキーボードを変更する

- 1 ホーム画面で「**設定**」→「**アプリ**」タブ→「**設定**」
- 2 「**詳細設定**」→「**言語と文字入力**」
言語と文字入力設定画面が表示されます。
- 3 「**デフォルトのキーボード**」→「**Googleキーボード**」／
「**iWnn IME**」

■ お知らせ

- 手順3で「デフォルトのキーボード」→「入力方法の設定」をタップすると、利用するキーボードの選択／解除ができます。
- 文字入力中に画面右下に表示される「**入力方法の選択**」をタップしても、キーボードを変更できます。

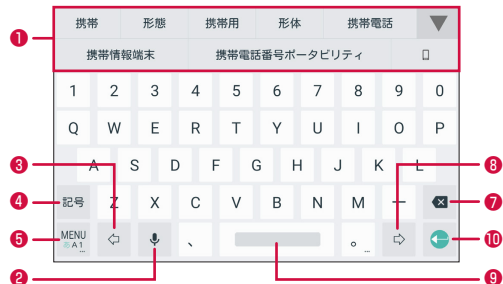
文字を入力する

iWnn IMEでは、次の3種類のキーボードタイプがあります。

キーボードタイプ	説明
テンキーボード	複数の文字が各キーに割り当てられています。キーをフリックして入力するフリック入力 (P.32) と、目的の文字が表示されるまでキーを繰り返しタップするトルグル入力の2種類の方法で文字を入力できます。
QWERTYキーボード	パソコンのキーボードと同様のキー配列で、日本語を入力するにはローマ字で入力します。
50音キーボード	50音順／アルファベット順に並んだキーをタップして入力します。



テンキーボード



QWERTYキーボード



- 1 変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
 -  をタップすると、変換候補欄を広げられます。
- 2  : ドコモ音声入力を起動し、音声で文字を入力します。
 : テンキーボードで文字をトグル入力した場合に、キーに割り当てられた文字を逆順に表示します。
 : 50音キーボードで「音声入力キーを表示」をOFFにしている場合に、各種設定画面を表示します。
- 3 変換範囲を1文字縮小します。
 - 未確定の文字がないときは、カーソルを左に移動します。
- 4 記号 : 絵文字／記号／顔文字一覧を表示します。
英数字 : 英数字・カタカナの変換候補を表示します。
 /  /  : QWERTYキーボードで英字入力時に、小文字／1文字のみ大文字／大文字を切り替えます。
 /  : QWERTYキーボードで数字入力時に、入力できる記号を切り替えます。
- 5 入力モード (かな／英字／数字) を切り替えます。
 - ロングタッチすると、各種設定やキーボードタイプ、入力モードの切り替えなどができます。50音キーボードでは50音配列の切り替えもできます。

■ お知らせ

キーボードタイプを変更する

■ お知らせ

- 画面の向きや入力モードごとにキーボードタイプを設定することもできます。キーボード表示中に **MENU** をロングタッチ→「各種設定」→「表示」タブ→「キーボードタイプ」をタップして設定します。

フリック入力を利用する

フリック入力とは、入力する文字の行が割り当てられているキーをタップしたまま、上／下／左／右にフリックして、入力する文字を選択する入力方法です。キーに触れたときに、キーの上にポップアップが表示されますので、入力したい文字の方向にフリックします。ポップアップ中央の文字は、キーをタップするだけで入力できます。

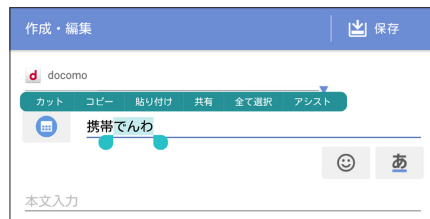
<例：「め」を入力する場合>

- 1 「ま」のキーをタップしたまま、「め」が表示されている方向（右）にフリック



文字の編集

入力した文字列を選択／コピー／切り取り／貼り付けして利用できます。



文字列選択画面

- 1 入力した文字列をロングタッチ
- 2 文字列範囲の両端にあるつまみをドラッグして文字列を選択
- 3 項目をタップ
 - アプリや操作状況によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
カット	選択した文字列を切り取ります。
コピー	選択した文字列をコピーします。
貼り付け	切り取り／コピーした文字列を貼り付けます。
全て選択	入力した文字列をすべて選択します。

■ お知らせ

- コピー／切り取りした文字列がある場合は、以下の操作で貼り付けることができます。
 - 文字が入力されていない場合：文字入力欄をロングタッチ→「貼り付け」
 - 文字が入力されている場合：挿入したい位置をタップして表示させたカーソルをタップ→「貼り付け」

ユーザー辞書 (iWnn IME) を利用する

特殊な読みかたをする漢字や、よく使う略語などを登録しておくことで便利です。登録した単語を呼び出すには、文字入力欄に登録した読みを入力し、変換します。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」
- 2 「詳細設定」 → 「言語と文字入力」 → 「iWnn IME」
- 3 「辞書」タブ → 「日本語」／「英語・その他」
- 4  → 「登録」

■ 単語を編集する場合

- ① 編集する単語を選択 →  → 「編集」

■ 単語を削除する場合

- ①  → 「削除」／「すべて削除」 → 「OK」
 - 1件の単語を削除する場合は、削除する単語を選択 →  → 「削除」 → 「OK」をタップします。

- 5 読み・単語を入力 → 「OK」

文字入力の設定を変更する

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」
- 2 「詳細設定」 → 「言語と文字入力」 → 「Googleキーボード」／「iWnn IME」
- 3 項目を設定
 - 設定できる項目は、入力方法により異なります。

初期設定

はじめて電源を入れたときは画面の指示に従って、言語、Wi-Fi、Google アカウント、ドコモサービスの初期設定などを行います。

- Google アカウントの設定により表示される項目が異なる場合があります。

1 本端末で使用する言語を選択

言語を切り替える場合は、上下にスライド（スワイプ）します。

2 「次へ」

- 以降は画面の指示に従って、以下の設定などを行ってください。
 - Wi-Fi 設定
 - SIM 情報設定 (P.91)
 - Google アカウント
 - 端末を保護
 - 復元
 - 指紋ID

3 設定完了画面で「開始」

4 ドコモサービスの初期設定画面で「すべてのリンク先の内容に同意する」にチェックを付ける→「設定をはじめる」

- 以降は画面の指示に従って、以下のドコモサービスの設定を行ってください。
 - dアカウント
 - ドコモクラウド
 - ドコモアプリパスワード
 - ドコモ位置情報
 - 遠隔初期化*
 - アプリ一括インストール
- ※ドコモアプリパスワードを設定していない場合は表示されません。

5 「使いはじめる」

■ お知らせ

- ホーム画面の使い方画面が表示された場合は、内容をご確認の上、「次へ」→「次へ」→「以後表示しない」／「OK」をタップします。
- ドコモサービスは、「ドコモのサービス／クラウド」(P.105) で変更することができます。

通知LED

新着メールなどの通知があるときや、充電しているときなどに通知LED が点灯／点滅して通知や本端末の状態をお知らせします。

動作	説明
赤で点灯	充電中（電池残量が9%以下）／使用中（電池残量が4%以下）
橙で点灯	充電中（電池残量が10～89%）
緑で点灯	充電中（電池残量が90%以上）
緑で点滅	新着メッセージなどの通知あり ・画面が消灯しているときに点滅します。

画面表示／アイコン

ステータスバー

ディスプレイ上部に表示されるステータスバーには、メールの受信、データの送受信の結果などをお知らせする通知アイコン、本端末の状態を示すステータスアイコンが表示されます。

通知アイコン

ステータスアイコン



主な通知アイコン

アイコン	状態	参照先
	新着Gmailあり	P.56
	新着メッセージあり	P.55
	新着エリアメールあり	P.57
	予定（カレンダー）の通知あり	P.81
	メディアプレイヤーで音楽再生中	P.72
	エラー発生（同期不具合など）	—
	内部ストレージの空き容量低下	—
	Wi-FiがONかつWi-Fiオープンネットワークが利用可能	P.90
	Bluetooth通信でデータ受信通知あり	P.125

アイコン	状態	参照先
	データのアップロード	P.126
	データのダウンロード	P.125
	インストール完了	P.63
	アップデート通知あり	—
	ソフトウェア更新可能	P.136
	Wi-Fiテザリング／USBテザリングが有効	P.94、P.95
	オートGPS動作中	P.106
	位置提供設定ON	P.106
	スクリーンショット保存完了	P.28
	docomo LIVE UXなどの通知あり	—
	キーボード表示中	—
	あんしん遠隔サポート起動中	P.134
	ジェスチャー操作利用可能	P.27
	通知の鳴動制限ON	P.98
	電池残量10%以下	—
	SIM情報未設定／SIM情報を無効に設定中	P.91

主なステータスアイコン

アイコン	状態	参照先
 (弱⇔強)	Wi-Fiネットワーク接続中 ^{※1}	P.88
	インターネット利用不可のWi-Fiに接続中	P.88
	圏外	—
 (弱⇔強)	4G (LTE) 使用中 ^{※1}	—
 (弱⇔強)	3G使用中 ^{※1}	—
	Bluetooth起動中	P.124
	Bluetooth機器に接続中	P.125
	機内モード設定中	P.87
	サイレントモード（マナーモード）設定中	P.99
	バイブレーション（マナーモード）設定中	P.99
	アラーム設定中	P.76
	VPN接続中	P.96
	GPS測位中	—
	電池残量5%以下	—

アイコン	状態	参照先
	電池残量6～15% ^{※2}	—
	電池残量16～100% ^{※2}	—
	充電中（電池残量32%以下／電池残量33%以上） ^{※2}	—

※1 クイック設定パネル（P.38）のWi-Fiやモバイルデータ通信のアイコン横にが表示され、データ通信中かどうか確認できます。

※2 電池残量に応じてアイコンの残量表示部分が変化します。

ソフトキー

ディスプレイ下部に表示されるソフトキーは、本端末の共通操作を示します。



ソフトキー	機能
	直前の画面表示に戻ります。
	ホーム画面に戻ります。 • ロングタッチすると、「Google」アプリを起動できます。
	最近使用したアプリや機能の一覧を表示します。 • 一覧でアプリや機能のサムネイルをタップすると、アプリや機能を起動できます。 • サムネイルの「×」をタップすると一覧から削除できます。 • 画面下部に表示される をタップすると、すべてのサムネイルを削除できます。 • 起動中のアプリのサムネイルを一覧から削除すると、アプリを終了することができます。

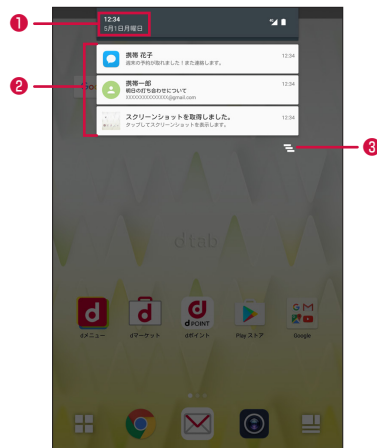
■ お知らせ

- 「ナビゲーションキー」(P.99) をONにすると、指紋センサーを使用してソフトキーの操作ができます。お買い上げ時は、「ナビゲーションキー」はONに設定されています。

通知パネル

通知パネルを表示すると、通知アイコンの内容を確認したり、アプリを起動したりできます。

1 ステータスバーを下にドラッグ



通知パネル

- 時刻、日付が表示されます。
- 通知情報が表示されます。タップすると、詳細を確認したり、対応するアプリを起動して操作したりできます。通知情報は、左右にフリックすると削除できます。
- タップすると、通知情報をすべて削除できます。通知内容によっては削除できない場合があります。

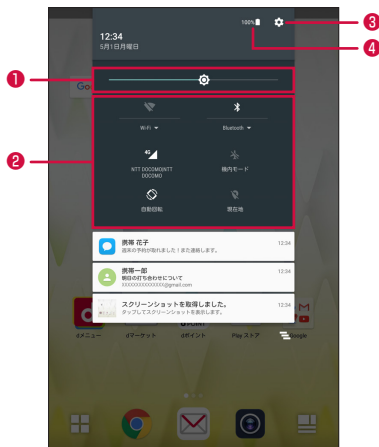
■ お知らせ

- 通知パネルを開くには、通知パネルを上からドラッグします。

クイック設定パネル

クイック設定パネルを表示して、画面の明るさを調整したり、機能のON/OFFを切り替えたりすることができます。

1 2本の指でステータスバーを下にドラッグ



- 1 画面の明るさを調整します。

- 2 アイコンをタップして機能のON/OFF切り替えや設定ができます。

項目	説明
Wi-Fi	Wi-Fi機能のON/OFFを設定できます。 ■をタップすると、Wi-Fiネットワークをスキャンして接続できます。 - アイコン横に1が表示され、データ通信中かどうか確認できます。
Bluetooth	Bluetooth機能のON/OFFを設定できます。 ■をタップすると、ペア設定したBluetoothデバイスをスキャンして接続できます。
モバイルデータ通信	モバイルデータ通信のON/OFFを設定できます。 - アイコン横に1が表示され、データ通信中かどうか確認できます。 - アイコン下には通信事業者名が表示されます。
機内モード	機内モードのON/OFFを設定できます。
自動回転	本端末の向きに合わせて、縦／横画面表示に自動で切り替えるかどうかを設定できます (P.28)。
現在地	位置情報のON/OFFを設定できます。

- 3 タップすると設定メニューを表示できます (P.87)。

- 4 電池残量が表示されます。タップすると電池画面を表示できます (P.100)。

■ お知らせ

- クイック設定パネルは、通知パネルを下にドラッグしても表示されます。
- クイック設定パネルを開くには、クイック設定パネルを上からドラッグします。
- 本端末の利用状況により、クイック設定パネルにアイコンが追加される場合があります。追加されたアイコンを削除するには、該当の機能がOFFのときにアイコンをロングタッチ→「非表示」をタップします。

ホーム画面の見かた

ホーム画面は、ウィジェットを貼り付けたり、アプリを起動したりすることができます。



ホーム画面

① ウィジェット (例: Google検索)

ウィジェットの起動や操作を行います。

② マチキャラ

メール受信などの情報をお知らせします。

③ 壁紙

④ アプリ

アプリを起動します。

⑤ インジケータ

ホーム画面のページ枚数と現在位置を表示します。ホーム画面を左右にフリックするとページを切り替えられます。

⑥ アプリボタン

アプリ画面が表示されます (P.43)。

⑦ Dock

ホーム画面を切り替えても常に表示されます。Dockにはアプリやフォルダなどを配置できます。

⑧ フォルダ

複数のアプリをまとめて格納することができます。

⑨ マイマガジンボタン

マイマガジンを表示します (P.49)。

ホーム画面の管理

ホーム画面に追加できるもの

ホーム画面にアプリやウィジェット、フォルダなどを追加することができます。

アプリを追加する

- 1 ホーム画面で、アプリやウィジェットなどがいない壁紙部分をロングタッチ
- 2 「アプリを表示」→ホーム画面に追加したいアプリをロングタッチし、ホーム画面表示領域までドラッグ

ウィジェットを追加する

- 1 ホーム画面で、アプリやウィジェットなどがいない壁紙部分をロングタッチ
- 2 「ウィジェットを表示」→ホーム画面に追加したいウィジェットをロングタッチし、ホーム画面表示領域までドラッグ

■ お知らせ

- Google Playからウィジェットのあるアプリをインストールした場合、インストールしたウィジェットもウィジェット一覧に表示されます。
- ウィジェットによってはサイズ変更可能な場合があります。サイズ変更をするには、ホーム画面で、サイズ変更したいウィジェットをロングタッチ→ウィジェットの周囲に表示された赤色の枠をドラッグしてサイズを変更→壁紙をタップします。

フォルダを追加する

- 1 ホーム画面で、アプリやウィジェットなどがいない壁紙部分をロングタッチ
- 2 「フォルダを作成」
 - フォルダをタップ→フォルダ名をタップすると、フォルダ名を変更できます。

アプリなどの移動

- 1 ホーム画面で、移動したいアプリやウィジェットなどをロングタッチ
- 2 移動したい位置までドラッグ
 - ホーム画面の左端または右端にドラッグすると、別のホーム画面へ移動できます。
 - アプリの上にアプリをドラッグした場合、2つのアプリを格納したフォルダを作成することができます。
 - フォルダの上にアプリをドラッグした場合、アプリをフォルダの中に格納することができます。

アプリをホーム画面からアプリ画面に戻す

- 1 ホーム画面で、アプリ画面に戻したいアプリをロングタッチ
- 2 「アプリ一覧に戻す」までドラッグ

ウィジェットなどをホーム画面から削除

- 1 ホーム画面で、削除したいウィジェットなどをロングタッチ
- 2 「ホーム画面から削除」までドラッグ

アプリやウィジェットのアンインストール

- 1 ホーム画面で、アンインストールしたいアプリをロングタッチ
- 2 「アンインストール」までドラッグ→「OK」
アンインストール完了のメッセージが表示されます。

■ お知らせ

- アプリによっては、アップデートのみがアンインストールされる場合があります。
- 手順2で「アプリ無効化」が表示された場合は、「アプリ無効化」までドラッグ→「無効にする」→「アプリを無効にする」をタップすると、無効化(P.106)することができます。

きせかえの変更

ホーム画面の壁紙やアプリ画面のデザインなどを一括設定できる機能です。

- 1 ホーム画面で、アプリやウィジェットなどが不在壁紙部分をロングタッチ→「きせかえを変更」
- 2 設定するテーマを選択→「設定」

■ お知らせ

- きせかえのコンテンツは、「サイトから探す」をタップして、ウェブサイトからダウンロードして追加することもできます。追加したきせかえのコンテンツを削除するには、削除したいテーマを選択して「削除」→「削除する」をタップします。

壁紙の変更

ホーム画面の壁紙を自分好みに変更できます。

- 1 ホーム画面で、アプリやウィジェットなどが不在壁紙部分をロングタッチ→「壁紙を変更」
 - 2 壁紙を選択→「OK」
 - 「他の壁紙を見る」をタップすると、「ギャラリー」／「フォト」／「ライブ壁紙」から選択できます。
- 「ギャラリー」／「フォト」の場合
- ① 写真を選択
 - 「ギャラリー」の場合は、写真選択後に ☒ をタップします。
 - ② 「OK」
 - 「位置調整」→赤枠をドラッグ→「OK」をタップすると、壁紙として使用する箇所を調整できます。
- 「ライブ壁紙」の場合
- ① 壁紙を選択→「壁紙に設定」

マチキャラの表示設定

キャラ表示やキャラ移動、吹き出し表示、キャラ自動アップデート設定を変更できます。

- 1 ホーム画面で、アプリやウィジェットなどが無い壁紙部分をロングタッチ→「マチキャラ設定」
- 2 項目を設定

ホーム画面の追加

- 1 ホーム画面で、アプリやウィジェットなどが無い壁紙部分をロングタッチ→「ホーム画面一覧」
 - ホーム画面でピンチインしてもホーム画面一覧が表示されます。
- 2 「+」
 - 最大ホーム画面数は7枚です。

ホーム画面の並べ替え

- 1 ホーム画面で、アプリやウィジェットなどが無い壁紙部分をロングタッチ→「ホーム画面一覧」
 - ホーム画面でピンチインしてもホーム画面一覧が表示されます。
- 2 ホーム画面のサムネイルをロングタッチ
- 3 移動したい位置までドラッグ

ホーム画面の削除

- 1 ホーム画面で、アプリやウィジェットなどが無い壁紙部分をロングタッチ→「ホーム画面一覧」
 - ホーム画面でピンチインしてもホーム画面一覧が表示されます。
- 2 削除したいホーム画面のサムネイルの✕をタップ

アプリ画面の見かた

アプリ画面を呼び出し、登録されているアプリを起動したり、アプリやウィジェットをホーム画面に移動したりできます。

- アプリ画面にないアプリは、ホーム画面に配置されています。

1 ホーム画面で田

初回起動時は操作ガイドが表示されます。「以後表示しない」または「OK」をタップします。

ホーム画面を下にフリックしてもアプリ画面を表示できます。



アプリ画面

1 アプリ／ウィジェット／壁紙の切り替えタブ

2 インジケータ（タブごとに表示）

一覧画面のページ枚数と現在表示位置を示します。

3 ホーム画面表示領域

- 左右にフリックしてホーム画面を切り替えることができます。
- 上にフリックするか、タップするとホーム画面が表示されます。

4 おすすめボタン

ドコモがおすすめするアプリをインストールできます（P.48）。

5 メニューアイコン

検索や本体設定などのメニューを表示します。

6 アプリ／ウィジェット／壁紙の一覧（タブごとに表示）

- アプリ／ウィジェットをロングタッチしたままホーム画面表示領域へドラッグすると、ホーム画面にアプリを移動したり、ウィジェットを配置したりできます。
- 左右にフリックするとページを切り替えられます。

アプリ一覧

お買い上げ時にプリインストールされているアプリは次のとおりです。

- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがございます。
- アプリの掲載順は、50音順・アルファベット順で掲載しています。
- アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。

アイコン	アプリ	概要	参照先
	あんしんスキャン	ウイルス検知、個人データを利用するアプリの確認支援、危険サイトアクセス時の注意喚起などにより、タブレットを安心してご利用いただくためのアプリです。	—

アイコン	アプリ	概要	参照先
	遠隔サポート	「あんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「あんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの端末の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。	P.134
	音声検索	音声で本端末内やウェブページを対象に検索できます。	—
	音声レコーダー	音声を録音できます。	P.83
	カメラ	写真の撮影、動画の録画ができます。	P.64
	カレンダー	カレンダーを表示して、予定の管理をします。	P.79
	ギャラリー	静止画や動画を閲覧・整理できます。	P.68
	災害用キット	災害用伝言板と災害用音声お届けサービス、緊急速報「エリアメール」をご利用いただくためのアプリです。	P.57
	ジェスチャー操作設定	ジェスチャー操作の設定を行います。	P.27
	しゃべってコンシェル	話しかけるだけであなたの意図を読み取り、天気や乗換情報を調べたり、アラーム設定などが簡単にできます。また、豊富なキャラクターとの会話もお楽しみいただけます。	—

アイコン	アプリ	概要	参照先
	スケジュール	スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。i コンシェルに対応しています。	—
	設定	本端末の各種設定を行います。	P.87
	ダウンロード	ウェブサイトからダウンロードしたファイルなどの一覧を表示します。	—
	データコピー	機種変更時のデータ移行や、「microSDカード」もしくは「データ保管BOX」へのバックアップ・復元ができるアプリです。	P.85
	データ保管BOX	データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。	—
	てがき翻訳	指やスタイラスペンで画面に文字を書くだけで相手の言語に翻訳するアプリです。文字だけでなく、イラスト・写真も活用しながら言語の異なる相手とのコミュニケーションを楽しむことができます。	—
	電卓	加算、減算、乗算、除算などの計算を行います。	P.84
	時計	アラームなどを利用できます。	P.76

アイコン	アプリ	概要	参照先
	ドコモメール	ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができます。 dアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。	P.54
	ドコモ電話帳	ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoのアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます。	P.50
	ドライブ	Googleドライブを利用できます。	—
	取扱説明書	本端末の取扱説明書を表示できます。	—
	トルカ	お気に入りのお店のお得なクーポン・便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。	P.84
	ハングアウト	ハングアウトを利用してチャットができます。	—
	ファイル	本端末やmicroSDカード内のファイルをカテゴリやフォルダごとに確認することができます。	P.120
	フォト	写真や動画の管理などを行います。	—
	フォトコレクション	写真や動画を無料で5GBまでクラウドにバックアップし、スマートフォン、タブレット、パソコンなどからアクセスできるサービスです。	—

アイコン	アプリ	概要	参照先
	マップ	現在地の確認、他の場所の検索や経路検索などGoogleマップのサービスを利用できます。	P.75
	マネレコ	銀行口座の残高やクレジットカードの明細などをまとめて確認できる家計簿アプリです。	—
	メッセージ	SMSの送受信ができます。	P.54
	メディアプレイヤー	音楽や動画を再生することができるアプリです。	P.72
	メモ	メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています。i コンシェルに対応しています。	P.82
	日経電子版	日経電子版の記事・コンテンツを閲覧可能なアプリです。	—
	Amazon	Amazonから商品を検索して買い物ができる公式アプリです。	—
	Amazon Kindle	Amazonで購入した書籍を読むためのKindle電子書籍リーダーアプリです。Amazonから電子書籍を購入することもできます。	—
	Chrome	ウェブブラウザアプリです。	P.58
	dブック マイ本棚	ドコモの電子書籍ストアで購入したコミック・小説・実用書などの閲覧ができるアプリです。また、一部の作品を無料で試し読みできます。	—

アイコン	アプリ	概要	参照先
	dポイント	dポイントを「確認する」「ためる」「つかう」ことができるアプリです。	—
	dマーケット	音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。	P.62
	dメニュー	「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。	P.62
	Evernote	ノートを取るように情報を記録・検索できるクラウドサービスです。	—
	Excel	Android向けのMicrosoft Excelアプリです。	—
	Gmail	Googleのメールサービスや一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。	P.56
	Google	キーワードから本端末内やウェブページを対象に検索できます。	—
	i コンシェル	タブレットがまるで「執事」や「コンシェルジュ」のように、あなたの生活をサポートするサービスです。あなたのスケジュールやお住まいのエリア、現在地に応じて、雨雲アラームや鉄道運行情報、おでかけスポットなど、毎日の生活に役立つ情報を最適なタイミングでお届けします。	—

アイコン	アプリ	概要	参照先
	i コンシェルホーム	タブレットを家の中に据え置いて利用するためのタブレット専用アプリです。 天気・気象情報や鉄道運行情報、スケジュール、チラシ情報、地域行政情報、ドコモからのお知らせなどが常時表示され、音声による操作も可能です。ご家族との情報共有などにご利用いただけます。	—
	LAWSON	ローソンの公式アプリです。タブレットが会員カード代わりになるデジタル会員証の表示や店舗検索、おトクなお試し引換券のチェックができます。	—
	OneDrive	Android向けのMicrosoft OneDriveアプリです。	—
	Playストア	Google Playにアクセスして新しいアプリのダウンロード・購入ができます。	P.63
	Playムービー&TV	Google Playにアクセスして、鑑賞したい映画やテレビ番組を購入またはレンタルできる動画アプリです。	—
	Play Music	内部ストレージやmicroSDカードに保存した音楽データを再生します。	—
	PowerPoint	Android向けのMicrosoft PowerPointアプリです。	—

アイコン	アプリ	概要	参照先
	Twitter	Twitterの公式クライアントアプリです。 サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。	—
	Word	Android向けのMicrosoft Word アプリです。	—
	YouTube	世界中の動画を再生したり、録画した動画をアップロードできます。	P.73

■ お知らせ

- アプリによっては、ダウンロードとインストールが必要になるものがあります。
- プリインストールされているアプリには、一部アンインストールできるアプリがあります。一度アンインストールしても「Playストア」(P.63) などから再度ダウンロードできる場合があります。

アプリの管理

アプリの移動

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」 タブ → 移動したいアプリをロングタッチ
- 2 移動したい位置までドラッグ

アプリのアンインストール

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」 タブ → アンインストールしたいアプリをロングタッチ
- 2 「アンインストール」 までドラッグ → 「OK」
アンインストール完了のメッセージが表示されます。

■ お知らせ

- アプリによっては、アップデートのみがアンインストールされる場合があります。
- 手順2で「アプリ無効化」が表示された場合は、「アプリ無効化」までドラッグ → 「無効にする」 → 「アプリを無効にする」をタップすると、無効化(P.106) することができます。
- 手順2でロングタッチして何も表示されない場合は、アンインストールまたは無効化ができません。

「おすすめ」アプリのインストール

アプリ画面のおすすめボタンをタップすると、ドコモがおすすめするアプリが表示されます。

1 ホーム画面で → 「おすすめ」

- 初回起動時はおすすめアプリの説明画面が表示されます。「おすすめアプリを見る」をタップするとアプリの一覧が表示され、おすすめアプリの通知もONになります。

2 アプリを選択

ダウンロード画面が表示されますので、画面の指示に従って操作します。

■ お知らせ

- ホーム画面で  → 「おすすめ」 →  → 「通知設定」の  /  をタップすると、おすすめアプリの通知のON/OFFを切り替えることができます。

すべてのアプリ表示

アプリの配置場所を検索する機能です。

1 ホーム画面で → → 「すべてのアプリを表示」

すべてのアプリが一覧表示されます。

2 アプリを選択

選択したアプリの配置場所の画面が表示され、アイコンが選択された状態になります。

ホーム画面のバックアップと復元

ドコモクラウドにバックアップされたdocomo LIVE UXのデータを使って、ホーム画面のアプリやウィジェットなどの配置を復元することができます。その際、ホーム画面の最後にドコモサービスのページが追加されます。

- ホーム画面のバックアップ／復元を行うには、dアカウントの設定が必要です。

ホーム画面のバックアップ

1 ホーム画面で → → 「配置のバックアップと復元」

2 → 「バックアップ」

ホーム画面のバックアップデータを復元

1 ホーム画面で → → 「配置のバックアップと復元」

2 「最新のバックアップデータを復元」／「バックアップデータ一覧から復元」

- 「バックアップデータ一覧から復元」を選択したときは、復元するデータを選択→「復元」をタップします。

3 「復元する」

マイマガジン

マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって使えば使うほどお客様の好みに近づいていきます。お知らせの通知や位置情報、ドコモサービス契約情報などを利用したマイマガジンのカスタマイズが利用できるように設定することもできます。

ジャンル設定

マイマガジンで表示したい情報のジャンルを選択できます。

1 ホーム画面で

ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。

- 初回起動時はマイマガジンの説明画面が表示され、ジャンルを選択することができます。内容を確認して「OK」をタップします。
- ホーム画面を上フリックしてもマイマガジンを表示できます。

2 → 「表示ジャンル設定」

3 ジャンルにチェックを付ける

■ お知らせ

- 記事一覧画面でをタップすると、マイマガジンの設定を変更したり、ヘルプを確認したりすることもできます。

記事の見かた

1 ホーム画面で

ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。

- 左右フリックするとジャンルを切り替えられます。
- 「もっと見る」をタップすると、記事一覧画面に表示されていた記事以外の情報項目が並ぶ画面が表示されます。

2 読みたい記事をタップ

ホームアプリの情報

docomo LIVE UXの提供者やバージョン情報などが確認できます。

1 ホーム画面で →

2 「アプリケーション情報」

電話帳

- クラウドの利用についての確認画面が表示された場合は内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。

連絡先を登録する

電話帳アプリを利用して、名前や電話番号、メールアドレスなどさまざまな情報の連絡先を管理できます。

- 1 ホーム画面で「ドコモクラウド」→「ドコモ電話帳」
連絡先画面が表示されます。
- 2 「登録」
- 3 必要な項目を入力
 - 「その他項目を追加」をタップすると、住所やメモなどの情報を追加できます。
- 4 「登録完了」

グループを利用する

連絡先をグループ分けして管理することができます。

- 1 ホーム画面で「ドコモクラウド」→「ドコモ電話帳」
- 2 「グループ」タブ

■ グループを追加／編集する場合

- ① 「グループ追加」→アカウントを選択
 - 登録済みのグループを編集する場合は、編集したいグループをロングタッチ→「グループ編集」をタップします。
- ② グループ名を入力→アイコン、色を選択（docomoのアカウントの場合のみ）
- ③ 「OK」

■ グループを削除する場合

- ① 削除したいグループをロングタッチ→「グループ削除」
- ② 「OK」

■ グループに連絡先を追加する場合

- ① 連絡先を追加したいグループをタップ→「メンバー追加」
- ② 連絡先にチェックを付ける
- ③ 「決定」
- ④ 「OK」

■ グループから連絡先を削除する場合

- ① 削除したい連絡先を含むグループをタップ→「メンバー削除」
- ② 連絡先にチェックを付ける
- ③ 「決定」
- ④ 「OK」

■ グループの表示を並べ替える場合

docomoのアカウントのグループのみ並べ替えができます。

- ① 「並べ替え」
- ② 並べ替えたいグループをタップして上下にドラッグ
- ③ 「決定」

マイプロフィールを登録する

1 ホーム画面で「ドコモクラウド」→「ドコモ電話帳」

2 「マイプロフィール」タブ

■ マイプロフィールを編集する場合

- ① 「編集」
- ② 必要な項目を入力→「登録完了」

ドコモ電話帳の画面のメニュー

ドコモ電話帳の各画面で ⓘ をタップすると、メニューが表示されます。
項目は、選択されているタブによって異なります。
利用できるメニューは表示されている内容によって異なります。



1 クラウド
クラウドへのログイン／ログアウトができます。

2 メニュー
メニューを表示します (P.52)。

■ 連絡先

項目		説明
連絡先削除		複数の連絡先を選択して削除します。
クラウドメニュー		クラウドメニューを表示します。
SDカード／SIMカード／共有		P.53
設定	ドコモ電話帳の海外利用設定	本端末は国際ローミング非対応のため、ご利用になれません。
	dアカウント情報／Wi-Fi利用設定	dアカウントの設定などを行います。
	連絡先の表示順	連絡先の表示順を設定します。
	表示するアカウント	連絡先画面に表示させる連絡先を設定します。
	i コンシェルメニュー※	i コンシェルで電話帳をサポートする機能を設定します。
ヘルプ		電話帳のヘルプを表示します。
連絡先登録件数		連絡先の登録件数を表示します。
アプリケーション情報		電話帳のアプリ情報を表示します。

※ i コンシェルのご契約が必要です。

■ グループ

項目	説明
グループ削除	追加したグループを削除します。 「お気に入り」は削除できません。 - 削除するグループに含まれている連絡先は削除されません。

■ マイプロフィール

項目	説明
マイプロフィールー斉送信	マイプロフィールを変更したとき、ドコモ電話帳に登録した連絡先のメールアドレスに変更内容を一斉送信します。
共有	マイプロフィールを、Bluetooth通信やメールなどを使って共有します。

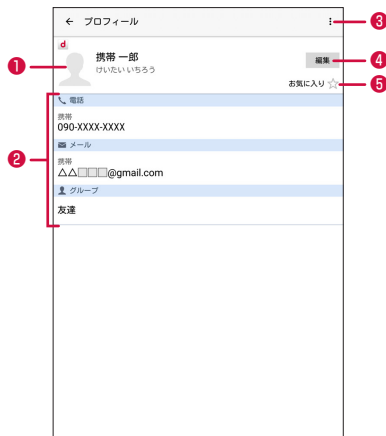
連絡先を利用する

1 ホーム画面で「ドコモクラウド」→「ドコモ電話帳」

連絡先画面が表示されます。

- 「インデックス」をタップして画面右に表示されたインデックスの文字をタップすると、そのインデックス文字に振り分けられている連絡先を表示します。

2 確認したい連絡先をタップ



連絡先詳細画面

- 1 連絡先に設定された写真

2 登録内容

選択された連絡先の登録内容が表示されます。

- メールアドレスをタップして、メールを作成できます。

3 メニューアイコン

メニューを表示します (P.53)。

4 編集

表示している連絡先の内容を編集します。

5 お気に入り

タップしてお気に入りへの登録／解除ができます。

連絡先詳細画面のメニュー

連絡先詳細画面で「:」をタップすると、次の項目が表示されます。

項目	説明
共有	表示している連絡先を、Bluetooth通信やメールなどを使って共有します。
削除	表示している連絡先を削除します。
統合／分割	他の連絡先の内容を統合／分割します。

連絡先をインポート／エクスポートする

連絡先をmicroSDカードやドコモeSIMカードからインポートしたり、microSDカードにエクスポートしたりできます。また、Bluetooth通信やメールなどを使って連絡先の全件データ送信ができます。

1 ホーム画面で「ドコモクラウド」→「ドコモ電話帳」

連絡先画面が表示されます。

2 「:」→「SDカード／SIMカード／共有」

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

ドコモメール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。

送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。

ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/service/docomo_mail/

1 ホーム画面で

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

メッセージ（SMS）

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

※ 送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス（SMS）」をご覧ください。

メッセージ（SMS）を作成／送信する

1 ホーム画面で→「アプリ」タブ→「メッセージ」

2 「新規メッセージ」

3 「宛先」欄に携帯電話番号を入力

- 名前や電話番号を入力すると、部分一致する連絡先がリスト表示されます。

■ 電話帳から宛先を選択する場合

- ① →送信する連絡先をタップ

4 「メッセージを入力」欄にメッセージを入力

5

■ お知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いて入力してください。

受信したメッセージ（SMS）を確認する

1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「メッセージ」

スレッド（メッセージ（SMS）を送受信した相手）一覧画面が表示されます。

2 読みたいスレッドをタップ

メッセージ（SMS）一覧画面が表示されます。

- 受信メッセージ（SMS）は背景が白色の吹き出し、送信メッセージ（SMS）は緑色の吹き出しで表示されます。

■ お知らせ

- メッセージ（SMS）を受信すると、ステータスバーに⑨が表示されます。
- メッセージ（SMS）一覧画面でスレッドの画像をタップすると、登録されていない相手であれば電話帳に登録することができます。

スレッド一覧画面のメニュー

スレッド一覧画面で「メニュー」をタップすると、次の項目が表示されます。

- 設定画面で「初期設定に戻す」をタップすると、設定を初期設定に戻します。

項目		説明
お気に入り		お気に入りにコピーしたメッセージを表示します。
全て既読にする*		未読のメッセージをすべて既読にします。
設定	送信をキャンセル	送信メッセージ（SMS）を4秒以内にダブルタップして送信をキャンセルするかどうかを設定します。
	通知音	メッセージ（SMS）を受信したときに鳴らす音を設定します。

項目		説明
設定	バイブレーション	メッセージ（SMS）を受信したときに本端末を振動させるかどうかを設定します。
	詳細設定	署名の設定やSMSセンター番号の表示、ドコモeSIMカードにコピーしたメッセージ（SMS）の確認、確認コードセキュリティの設定を行います。

※ 未読のメッセージがある場合のみ選択できます。

メッセージ（SMS）一覧画面のメニュー

送受信したメッセージ（SMS）をロングタッチすると、次の項目が表示されます。

項目	説明
削除	メッセージ（SMS）を削除します。
転送	メッセージ（SMS）を転送します。
コピー	メッセージ（SMS）の本文をコピーします。
すべて選択／すべて選択解除	すべてのメッセージ（SMS）を選択／選択解除します。

項目	説明
メニュー	お気に入りにお気に入り
コピー	メッセージをお気に入りにお気に入り
編集*	メッセージを編集します。
再送信*	再送信します。
SIMカードにコピー	メッセージ (SMS) をドコモeSIMカードにコピーします。
文字を選択	メッセージ (SMS) の本文から文字を選択します。
ロック／ロック解除	誤って削除しないようにメッセージ (SMS) を保護／保護解除します。
詳細を表示	詳細情報を表示します。

※ 送信に失敗したメッセージなどで未送信の場合のみ表示されます。

Gmail

Googleのメールサービスや一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- GoogleアカウントやEメールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。
- Gmailの詳細については、スレッド一覧画面で画面の左端を右にフリック → 「ヘルプとフィードバック」 をタップしてください。

Gmailを開く

- 1 ホーム画面で「Google」→「Gmail」
- 2 スレッド一覧画面で表示したいスレッドをタップ
選択したスレッドの内容が表示されます。

Gmailを作成／送信する

- 1 ホーム画面で「Google」→「Gmail」
- 2 
- 3 「To」欄に宛先を入力
• Cc/Bccを追加するには、▼をタップします。
- 4 「件名」欄に件名を入力
- 5 「メールを作成」欄に本文を入力
• ファイルを添付するには、 → 「ファイルを添付」 をタップします。
- 6 

Gmailを更新する

- 1 ホーム画面で「Google」→「Gmail」
- 2 スレッド一覧画面でスレッド一覧を下にフリック
• 本端末のGmailアプリとEメールアカウントを同期させ、受信トレイを更新します。

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、ソフトウェアアップデート中（ダウンロード中を除く）、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、内部ストレージの空き容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメール（緊急地震速報）を再度受信することはできません。エリアメール（津波警報、災害・避難情報）は再送され、受信できなかった場合は再度受信が可能になります。

緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴りステータスバーに通知アイコンが表示され、内容表示画面が表示されます。

- ブザー音または着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- お買い上げ時は、マナーモードを設定中でも着信音が鳴ります。鳴動しないように設定できます。

受信したエリアメールを表示する

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「災害用キット」
- 2 「緊急速報「エリアメール」」 → エリアメールをタップ

エリアメールを削除する

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「災害用キット」
- 2 「緊急速報「エリアメール」」
- 3 削除したいエリアメールにチェックを付ける → 「削除」 → 「OK」
 - すべてを選択するには「すべて選択」をタップします。

緊急速報「エリアメール」を設定する

受信設定や着信音設定をします。また、受信時の動作確認もできます。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「災害用キット」
- 2 「緊急速報「エリアメール」」 →  → 「設定」
- 3 項目を設定

項目	説明
受信設定	エリアメールを受信するかどうかを設定します。
着信音	着信音の鳴動時間とマナーモードを設定時の着信音の動作を設定します。
受信画面および着信音確認	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報のエリアメールを受信したときの受信画面と着信音を確認します。
やさしい日本語表示	緊急地震速報、津波警報をわかりやすい日本語で表示するかどうかを設定します。

ウェブブラウザ

ウェブブラウザを利用する

「Chrome」アプリを利用して、ウェブページを閲覧できます。

- ウェブページによっては、表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。

ウェブページを表示する

1 ホーム画面で

「Chrome」アプリが起動し、ウェブページが表示されます。



Chrome画面

1 タブ

をタップすると新しいタブを表示します。タブをタップすると表示するウェブページが切り替わります。タブを閉じるときは、「×」をタップします。

2 ウェブページのタイトル

3 ホームアイコン

ホームページに設定したウェブページを表示します。

4 戻る／進むアイコン

以前に表示したウェブページが記録されている場合に、タップして表示させることができます。

5 更新アイコン

ウェブページの表示を更新します。

6 アドレスバー

ウェブページのURLや検索したいキーワードをここに入力します。

7 メニューアイコン

メニューを表示します (P.59)。

8 音声検索アイコン

音声でキーワードを入力して、ウェブページを検索します。

9 ブックマーク登録アイコン

表示しているウェブページをブックマークに登録します (P.60)。

■ お知らせ

- アドレスバーなどが表示されていない場合は、画面を下にスライド（スワイプ）してスクロールすると表示されます。

シークレットタブでウェブページを表示

閲覧履歴や検索履歴を残さずに、ウェブページを閲覧できます。

1 Chrome画面で

2 「新しいシークレットタブ」

- アドレスバーにURLやキーワードを入力します。
- シークレットタブで表示中は画面上部にが表示されます。
- シークレットタブを閉じるには、シークレットタブの「×」をタップします。

■ お知らせ

- シークレットタブで開いたウェブページは履歴に残りません。シークレットタブを閉じるとCookieなどの記録も消去されます。ただし、ダウンロードしたファイルやブックマークに登録したウェブページは保存されます。

Chrome画面表示中の操作

Chrome画面では、次の操作ができます。

- 表示中のウェブページによっては、操作できない場合があります。

目的	操作
拡大／縮小	画面をピンチアウト／ピンチインします。
スクロール	スライド（スワイプ）／フリックします。
前の画面に戻る	◀をタップします。
テキストのコピー、検索、共有	テキストをロングタッチするとスライダーが表示されます。スライダーを上下左右にドラッグしてテキスト範囲を選択すると、以下の操作ができます。 「コピー」をタップするとテキストがコピーされます。 「共有」をタップすると、選択したテキストをメールなどで共有できます。 「ウェブ検索」をタップすると、選択したテキストをウェブで検索できます。

Chrome画面のメニュー

Chrome画面で⋮をタップすると、次の項目が表示されます。

- 表示中のウェブページによって、表示される項目が異なる場合があります。

項目	説明
新しいタブ	新しいタブを開きます。
新しいシークレットタブ	新しいシークレットタブを開きます（P.58）。
ブックマーク	ブックマークされているページを表示します（P.60）。
最近使ったタブ	最近使ったタブを表示します。
履歴	アクセスしたページの履歴を表示します。
共有...	表示しているページを、他の端末やアプリと共有します。
ページ内検索	ページ内に表示されている内容を検索します。
ホーム画面に追加	表示しているページをホーム画面に追加します。
PC版サイトを見る	PC版のウェブページを開くように設定します。
設定	Chromeの設定をします（P.61）。
ヘルプとフィードバック	Chromeのヘルプを表示します。

ウェブページのリンクを操作する

1 Chrome画面でリンクをロングタッチ

2 利用したい項目をタップ

- リンクによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
新しいタブで開く	新しいタブでウェブページを開きます。
シークレットタブで開く	新しいシークレットタブでウェブページを開きます。
リンクアドレスをコピー	リンクのURLをコピーします。
リンク テキストをコピー	リンクのテキストをコピーします。
リンクをダウンロード	リンクをダウンロードします。 ダウンロードしたリンクは「ファイル」アプリなどで確認できます。

ブックマークと履歴を管理する

ブックマークに追加する

1 ホーム画面で

2 ブックマークに追加するウェブページを表示→☆

画面下に表示される「編集」をタップすると、ブックマークの名前／URLを編集したり、保存先フォルダを変更したりできます。

ブックマークからウェブページを表示する

1 ホーム画面で

2 → 「ブックマーク」

ブックマークの一覧が表示されます。

3 表示したいブックマークをタップ

履歴を表示する

1 ホーム画面で

2 → 「履歴」

履歴の一覧が表示されます。

3 表示したいウェブページをタップ

個々の閲覧履歴を消去する場合は、消去したいページの「×」をタップします。

閲覧履歴データをすべて消去する場合は、「閲覧履歴データの消去...」をタップした後、消去する期間を選択し、消去したい項目にチェックを付けて「データを消去」をタップします。

項目	説明
閲覧履歴	ウェブページの閲覧履歴を消去します。
Cookieとサイトデータ	保存されたCookieやサイトのデータを消去します。
キャッシュされた画像とファイル	キャッシュデータを消去します。
保存したパスワード	記憶されたユーザー名・パスワードを消去します。
自動入力フォームのデータ	登録した自動入力データを消去します。

ブックマーク一覧画面のメニュー

一覧画面で表示されるブックマークの  をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
選択	画面上部に  (編集) /  (移動) /  (削除) が表示され、ブックマークの編集/保存先フォルダの変更/削除ができます。
編集	ブックマークの名前/URLを編集したり、保存先フォルダを変更したりできます。
移動	ブックマークの保存先フォルダを変更します。
削除	ブックマークを削除します。

Chromeを設定する

1 ホーム画面で 

2  → 「設定」

3 項目を設定

項目	説明
Chromeにログイン	Chromeにログインし、同期などについて設定します。

	項目	説明
基本設定	検索エンジン	検索エンジンを設定します。
	フォームへの自動入力	ウェブフォームの入力欄をタップしたとき、「住所」や「クレジットカード」に登録した内容を自動的に入力するかどうかを設定します。
	パスワードの保存	ウェブページに入力したユーザー名・パスワードを記憶させます。
詳細設定	ホームページ	ホームページを設定します。
	プライバシー	ウェブページへのアクセスの設定を保存したり、障害時にレポートを送信するかどうかを設定したりします。 また、「閲覧履歴データを消去する」をタップすると、閲覧履歴データを消去できます (P.60)。
	ユーザー補助機能	表示される文字のサイズや強制ズームを設定します。
	サイトの設定	CookieやJavaScriptを有効化・無効化したり、ポップアップをブロックしたりします。
	データセーバー	データ使用量の節約を設定します。
	Chromeについて	Chromeのバージョン情報などを表示します。

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で「dメニュー」

- ウェブブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

■ お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE/3G）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。

1 ホーム画面で「dマーケット」

- dマーケットの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
<https://d.dmkt-sp.jp/common/about/index.html>

Playストア

Google Playで公開されているアプリを本端末にインストールして利用することができます。

- Google Playのご利用にはGoogleアカウントの設定が必要です (P.104)。

アプリをインストールする

- 1 ホーム画面で「Playストア」
- 2 アプリを検索し、内容を確認してインストールを行う

アプリをアンインストールする

- 1 Google Play画面で画面の左端を右にフリック→「マイアプリ&ゲーム」
- 2 アンインストールしたいアプリをタップ→「アンインストール」→「OK」

■ お知らせ

- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、自動的に通信を行うものがあります。通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。
- アプリによっては、自動的にアップデートが実行されるものがあります。
- 有料アプリの場合、規定の時間内であれば返金要求ができます。詳しくはGoogle Play画面で画面の左端を右にフリック→「ヘルプとフィードバック」で、返金や払い戻しについてご確認ください。
- Google Playの詳細については、Google Play画面で画面の左端を右にフリック→「ヘルプとフィードバック」をご確認ください。

カメラをご利用になる前に

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見えたり、暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 撮影する前には、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。レンズに指紋や油脂などが付くと、画像が不鮮明になる場合があります。
- 本端末を日の当たる所や高温の所に放置すると、画質が劣化することがあります。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとする、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりする場合があります。
- 撮影するときは、本端末が動かないようにしっかり手に持って撮影してください。撮影時に本端末を動かすと、画像が乱れる原因になります。
- 撮影するときは、レンズに指や髪などがつかないようにしてください。
- 撮影中は電池の消費が多くなります。電池残量が少ない状態で撮影を行うと、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりすることがあります。
- 静止画の連続撮影や動画の長時間撮影など、カメラを長時間起動していると本端末が温かくなり、カメラが自動的に終了することがありますが、故障ではありません。しばらく時間を置いてからご使用ください。

著作権・肖像権について

お客様が本端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

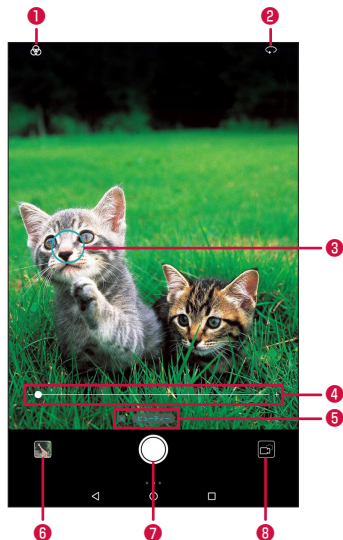
カメラを起動する

1 ホーム画面で📷

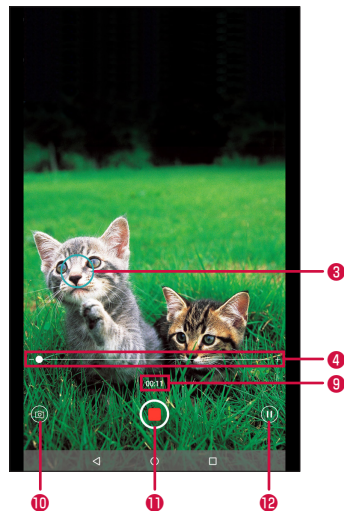
撮影画面が表示されます。

- カメラを終了するには撮影画面で🔍/📷をタップします。

撮影画面の見かた



静止画撮影画面



動画撮影中画面

1 フィルタ

フィルタ効果を切り替えます。

2 カメラ切り替え

アウトカメラ（背面）／インカメラ（前面）を切り替えます。

3 フォーカス枠

ピン트가合うと、フォーカス枠は白から水色に変わります。

4 ズーム

スライダーを左右にドラッグしてズームを設定します。

画面をピンチアウト／ピンチインするとスライダーが表示されます。

5 撮影モード表示

- 選択している撮影モード (P.68) を表示します。
- 「×」をタップすると、写真モードに切り替わります。

6 前回撮影した静止画や動画のサムネイル

タップすると再生できます。

7 シャッターボタン

静止画を撮影します。

8 静止画／動画の切り替え

静止画／動画撮影を切り替えます。

9 動画の撮影時間

撮影時間を表示します。

10 動画撮影中の静止画撮影ボタン

動画撮影中に静止画を撮影できます。

11 動画撮影の開始／停止ボタン

動画の撮影が開始／停止されます。

12 動画撮影の一時停止／再開ボタン

動画撮影を一時停止／再開します。

■ お知らせ

- 撮影画面に表示されているアイコンによっては、本端末の向きに合わせて回転します。
- 撮影モードによって、設定できる項目は異なります。
- インカメラ撮影時は、光量が少ない場合に自動で画面の輝度を高くする機能の  (オート) /  (OFF) を切り替えることができます。
- 撮影画面で画面を上スライド (スワイプ) すると、ギャラリーを起動できます。

静止画を撮影する

1 静止画撮影画面で被写体を画面に表示



シャッター音が鳴り、撮影されます。

■ お知らせ

- 撮影した静止画は自動的に保存されます。
- 静止画の撮影可能枚数は、microSDカードや内部ストレージの空き容量によって異なります。
- 静止画撮影画面で、QRコードやバーコードを読み取ることができます。QRコードやバーコードにピンポイントを合わせると「タップして詳細情報を表示」が表示され、タップすると読み取り結果を利用できます。

動画を撮影する

1 動画撮影画面で被写体を画面に表示



撮影開始音が鳴り、動画の撮影が開始されます。



撮影終了音が鳴り、動画が保存されます。

■ お知らせ

- 動画の撮影可能時間は、microSDカードや内部ストレージの空き容量によって異なります。

カメラの設定メニュー

撮影画面で画面を左にスライド (スワイプ) すると、次のメニューが表示されます。

- インカメラ／アウトカメラによって、表示されるアイコン／項目は異なります。
- 撮影モードによっては設定できない項目があります。
- 初期設定に戻すには「初期設定に戻す」→「OK」をタップしてください。

■ 静止画撮影時

項目	説明
解像度	静止画のサイズを設定します。
GPSタグ	撮影した静止画に位置情報を付加するかどうかを設定します。
SDカード内に保存（優先）※	静止画の保存先をmicroSDカードにするかどうかを設定します。
カメラグリッド	静止画撮影画面にグリッド線を表示するかどうかを設定します。
ミラー反射	インカメラ撮影時に正像／鏡像で撮影するかどうかを設定します。
タイマー／タイマー（セルフ撮影用画面）	タイマーを設定します。
音声シャッター	音声でシャッターを切られるようにするかどうかを設定します。
タップして撮影	画面内でタップしたところにピントを合わせて撮影するかどうかを設定します。
スマイルキャブチャ	笑顔を検出すると自動的に撮影するかどうかを設定します。
オブジェクトトラッキング	任意の物体を追跡するかどうかを設定します。
シャッターボタンを長押し	シャッターボタンをロングタッチしたときの動作を設定します。「連写」、「フォーカス」の中から選択します。
音量ボタンの機能	音量キーを押したときの動作を設定します。「シャッター」、「ズーム」、「フォーカス」の中から選択します。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを設定します。
ISO	ISO感度を設定します。

項目	説明
画像調整	画像の彩度やコントラストなどを調整します。

※ microSDカードが取り付けられている場合に表示されます。

■ 動画撮影時

項目	説明
解像度	動画のサイズを設定します。
GPSタグ	撮影した動画に位置情報を付加するかどうかを設定します。
SDカード内に保存（優先）※	動画の保存先をmicroSDカードにするかどうかを設定します。
オブジェクトトラッキング	任意の物体を追跡するかどうかを設定します。
音量ボタンの機能	音量キーを押したときの動作を設定します。「シャッター」、「ズーム」、「フォーカス」の中から選択します。
手ぶれ補正	手ぶれ補正を利用するかどうかを設定します。

※ microSDカードが取り付けられている場合に表示されます。

■ お知らせ

- 動画の解像度を「MMS 176×144」に設定した場合は、最大録画時間は約7秒になります。

撮影モードを切り替える

撮影画面で画面を右にスライド（スワイプ）すると、次の撮影モードが表示されます。

項目	説明
写真	静止画を撮影します。
ビューティー	美肌効果を利用して静止画を撮影します。
動画	動画を撮影します。
ビューティービデオ	美肌効果を利用して動画を撮影します。
HDR	明暗部の鮮明さが向上します。
パノラマ	横に長い写真を撮影できます。
ナイスフード	食べ物をより鮮明に撮影できます。
タイムラプス	雲の動きなどのゆっくりと変化するシーンを撮影し、コマ送りの動画で再生できます。
全フォーカス	撮影後にピント位置を変更できる静止画を撮影します。
ウォーターマーク	ロゴやマークを挿入できます。
音声写真	撮影後、最大10秒間の音声を録音できます。
文書スキャン	文字の書かれた部分を自動で切り取って撮影します。

ギャラリー

本端末で撮影した静止画／動画、ダウンロードしたデータなどを再生します。また、静止画の編集や、静止画／動画の共有ができます。

- ギャラリーでは、microSDカードまたは内部ストレージに保存されているデータを再生します。
- 本端末で対応しているファイル形式は次のとおりです。ただし、ファイルによっては利用できない場合があります。

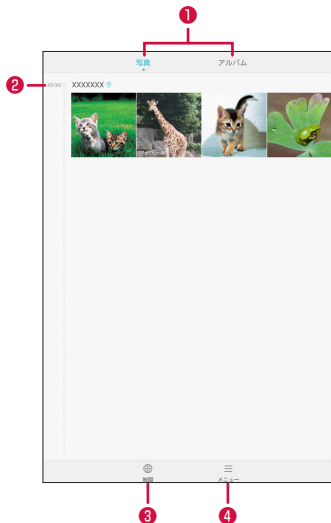
種類	ファイル形式
静止画	GIF、JPEG、BMP、WBMP、PNG
動画	H.263、H.264、H.265、VP8、MPEG4、Sorenson Spark、VC-1

ギャラリーを開く

1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「ギャラリー」

データー一覧画面／アルバム一覧画面が表示されます。

- データー一覧画面／アルバム一覧画面によって、表示される項目は異なります。



データー一覧画面

- ① データー一覧画面／アルバム一覧画面を切り替えます。
- ② 撮影日時／場所などが表示されます。
- ③ 位置情報アルバムを表示します。
アルバム一覧画面では「+」（新規アルバム）が表示されます。タップすると、アルバムを追加できます。
- ④ メニューアイコン
ギャラリーのメニューを表示します（P.69）。

■ お知らせ

- 本端末を縦にし、データー一覧画面を下にスライド（スワイプ）することでカメラアプリを起動できます。撮影画面で上にスライド（スワイプ）するとデーター一覧画面に戻ります。

ギャラリーのメニュー

■ データー一覧画面／アルバム一覧画面

データー一覧画面／アルバム一覧画面で「メニュー」をタップすると、次のメニューが表示されます。

- データー一覧画面／アルバム一覧画面によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
スライドショー	スライドショーを表示します。
アルバムを非表示	アルバムを非表示にします。 • 「カメラ」「すべてのビデオ」「自分のお気に入り」アルバムは非表示にできません。
設定	表示する写真の方向や撮影日時・場所の情報表示、全面面表示時に上方向にスライド（スワイプ）したときにデータ転送するかどうかの設定をします。

■ データー一覧画面

データー一覧画面でデータをロングタッチすると選択状態になり、次のメニューが表示されます。

- データによって操作できる項目は異なります。

項目	説明
共有	データを、Bluetooth通信やメールなどを使って共有します。
移動	データを他のアルバムに移動します。

項目	説明
削除	データを削除します。
全件選択／ 全て選択解除	すべてのデータを選択／選択解除します。
メニュー	コピー、編集などの操作が行えます。

■ アルバム一覧画面

アルバム一覧画面でアルバムをロングタッチすると選択状態になり、次のメニューが表示されます。

- アルバムによって操作できる項目は異なります。

項目	説明
共有	データを、Bluetooth通信やメールなどを使って共有します。
その他に追加	「その他」アルバムに移動します。
削除	アルバムを削除します。
全件選択／ 全て選択解除	すべてのデータを選択／選択解除します。
メニュー	名前を変更、詳細情報の確認が行えます。

■ お知らせ

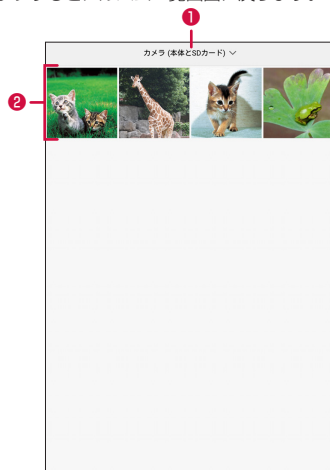
- データの種類によっては、共有に使用するアプリが一部表示されないことがあります。
- カメラで撮影した動画は「カメラ」、「すべてのビデオ」のどちらのアルバムにも表示されます。一方のアルバムで、削除などの操作を行うと、もう一方のアルバムにも反映されます。

静止画／動画を再生する

<例：アルバム一覧画面から再生する場合>

1 アルバム一覧画面で再生するアルバムをタップ

☑をタップするとアルバム一覧画面に戻ります。



サムネイル画面

① アルバム名

microSDカードを取り付けている場合は、☑をタップすると保存先の表示を切り替えられます。

② サムネイル

上／下にスライド（スワイプ）すると、画面をスクロールできます。

2 サムネイルをタップ

静止画／動画が再生できます。

再生画面のメニュー

■ 静止画再生の場合

表示されるアイコンや項目によって次のような操作ができます。

アイコン／項目	説明
	ファイル名や撮影情報などを表示します。
共有	Bluetooth通信やメールなどを使って共有できます。
お気に入り	「自分のお気に入り」アルバムに追加できます。
削除	削除します。
編集	静止画を編集します (P.71)。
メニュー	スライドショー、名前を変更などの操作が行えます。

■ 動画再生の場合（「フォト」を選択した場合）

アイコン	説明
	再生／一時停止します。
	左右にドラッグして巻き戻し／早送りします。

■ お知らせ

- 画面のアイコンが非表示になった場合は、画面をタップすると再表示できます。
- ギャラリーのメニューの設定で「上にスライドして転送を有効化」を有効にしていると、選択した静止画／動画を上にスライド（スワイプ）することによりBluetooth機能で転送できます (P.69)。
- 静止画再生の場合は、タッチパネルを使って次の操作ができます。
 - 左／右にフリック：前／後の静止画／動画を表示
 - ダブルタップ：拡大表示／縮小表示
 - ピンチイン／ピンチアウト：縮小表示／拡大表示

静止画を編集する

1 データー一覧画面／サムネイル画面で静止画をタップ

2 「編集」

3 各項目で画像を編集

- 画面右上に表示されるをタップすると、編集している画像の一時保存ができます。
- 画面右上に「比較」が表示されている場合は、「比較」をタップしている間、編集前の状態を確認できます。
- 画面上部に／が表示されている場合は、／をタップすると1つ前の編集状態に戻す／戻す操作を取り消すことができます。

項目	説明
回転	傾き調整、回転、反転を設定します。
トリミング	トリミングします。
フィルタ	フィルタ効果を追加します。
スプラッシュ	特定の色を強調させることができます。
イリュージョン	ぼかし加工します。ぼかしたくない部分を選択することもできます。
調整	画面の明るさ、コントラスト、彩度などを調整します。
モザイク	ぼかし加工（モザイク）します。
グラフィティ	手書きの線を追加します。
ウォーターマーク	ロゴやマークを挿入できます。
ラベル	ラベルを追加します。

4



画像が編集された状態で保存されます。

■ お知らせ

- 13Mピクセルを超える画素数の画像を編集した場合は、自動的に画像サイズを縮小して保存します。

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーを利用して、microSDカードまたは本端末の内部ストレージに保存した音楽／動画を再生したり、dマーケットのストアからコンテンツを利用できます。

- パソコンからmicroSDカードまたは本端末の内部ストレージに音楽／動画ファイルを保存するには、「パソコンと接続する」(P.127)をご参照ください。
- 本端末で対応しているファイル形式は次のとおりです。ただし、ファイルによっては利用できない場合があります。

種類	ファイル形式
音楽	MP3、WAV、AAC、AMR-NB、OGG、MIDI、FLAC
動画	H.263、H.264、H.265、VP8、MPEG4、Sorenson Spark、VC-1

音楽／動画を再生する

1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「メディアプレイヤー」データの一覧画面が表示されます。

2 画面左のアイコンをタップ

- 音楽を再生するには「全曲」／「アーティスト」／「アルバム」／「プレイリスト」／「着うた」をタップします。
- 動画を再生するには「ムービー」をタップします。
- 「dマーケット」／「新着ランキング」をタップすると、ストアの音楽／動画などのコンテンツを利用できます。

3 音楽または動画をタップ

選択した音楽／動画が再生されます。

■ 音楽／動画再生画面の操作について

- アイコンが消えている場合は、画面をタップすると再表示されます。
- 画面によって表示される項目は異なります。

アイコン	説明
	現在の再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
	再生／一時停止します。
	データの先頭／次のデータにスキップします。 データの先頭で をタップすると、前のデータの先頭にスキップします。
	10秒の巻き戻し／早送ります。
	音量の大きさを表示します。左右にドラッグすると音量を調節できます。
	リピートモードを設定します（リピートなし／全曲リピート／その曲をリピート）。
	シャッフル機能のON／OFF を設定します。
	データの一覧画面を表示します。
	画面の表示方向を自動的に切り替えるかどうかを設定します。

※1 音楽の再生画面でのみ表示されます。

※2 動画の再生画面でのみ表示されます。

■ お知らせ

- メディアプレイヤーのデータ一覧画面でや動画再生画面でをタップすると、設定、ヘルプの確認などの操作ができます。

プレイリストを利用する

プレイリストを利用して、楽曲をお好みの順番に再生することができます。

プレイリストを作成する

- 1 データの一覧画面で「プレイリスト」
- 2 「リスト作成」→プレイリスト名を入力→「OK」
- 3 曲を選択→「決定」
 - 「全曲」／「アーティスト」／「アルバム」タブをタップして、表示を切り替えられます。
- 4 「完了」→「OK」

プレイリストを再生／編集／削除する

- 1 データの一覧画面で「プレイリスト」

■ プレイリストを再生する場合

- ① 再生したいプレイリストをタップ
- ② 曲をタップ

■ プレイリストを編集する場合

- ① 編集したいプレイリストをタップ
- ② 「編集」
- ③ タイトル編集、曲の追加／削除、並べ替えの変更などを行う→「完了」→「OK」

■ プレイリストを削除する場合

- ① プレイリストの一覧画面で「リスト並替え／削除」
- ② 削除したいプレイリストをタップ→「完了」→「OK」

YouTube

YouTubeは、オンライン動画ストリーミングサービスです。動画の再生や投稿ができます。

動画を再生する

- 1 ホーム画面で「Google」→「YouTube」
YouTube画面が表示されます。
- 2 動画を検索→再生する動画をタップ
動画再生画面が表示されます。

■ お知らせ

- 本端末で利用できる機能はパソコン版のYouTubeと異なる場合があります。

GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは、米国国防総省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地

- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

位置情報を有効にする

位置情報を利用するアプリを使用するには、GPS機能を利用するか、またはWi-Fiを利用して、位置情報を検出できるように設定します。両方の利用を有効にしておくと、より正確な位置情報を検出できます。

- ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」
- 「詳細設定」→「位置情報サービス」
- 「現在地にアクセス」の  をタップしてONにする
確認画面が表示された場合は画面の指示に従って操作してください。
- 項目を設定

項目	説明
位置情報モード	位置を推測するのに使用するシステム／ネットワークを選択します。
最近の位置情報要求	最近位置情報を要求してきたアプリの一覧を表示します。 通知設定を変更したいアプリをタップすると、設定を変更することができます。
Googleロケーション履歴	ロケーションの履歴を使用するかどうかを設定したり、履歴の一覧を表示します。

Googleマップを利用する

Googleマップを利用して、現在地の位置情報を確認したり、場所を検索したりできます。

- Googleマップを利用するには、LTE／3Gネットワークでの接続またはWi-Fiでの接続が必要です。
- 地域によっては、一部の機能が利用できない可能性があります。

1 ホーム画面で「Google」→「マップ」

マップ画面が表示されます。

- アイコンをタップすると、次の操作ができます。

アイコン	説明
	マップメニューを表示します。利用状況やエリアによって表示される項目は異なります。
	音声で地図上を検索します。
	地図上で現在地が表示されていないときに、現在地表示に切り替えます。 地図上で現在地が表示されているときに  をタップすると、自分が向いている方向に合わせて表示が切り替わります。  をタップすると  に戻り、現在地表示されます。
	目的地までの経路を表示します（P.75）。

■ お知らせ

- マップ画面で、タッチパネルを使って次の操作ができます。
 - スライド（スワイプ）：地図をスクロールして他のエリアを表示
 - ロングタッチ：住所などの情報画面を表示
 - ピンチイン／ピンチアウト：地図を縮小表示／拡大表示
 - ダブルタップ：地図を拡大表示
 - 2本指で同時にタップ：地図を縮小表示
 - 2本指で上方向にスライド（スワイプ）：地図を傾けて3D表示
 - 2本指で回転させる：地図を回転表示
- 地図をロングタッチすると情報画面が表示され、詳細情報の確認やスター付きの場所への登録などの操作ができます。

経路を調べる

出発地と目的地を設定して、経路を確認できます。

1 マップ画面で

2 交通手段（／／）をタップ

3 「現在地」に出発地を入力

4 「目的地を入力」に目的地を入力

経路が表示されます。

-  をタップすると、出発地と目的地を入れ替えられます。

ナビゲーション機能を利用する

／ で経路を調べた後、ナビゲーション機能を利用すると、目的地までナビゲートしてくれます。

1 経路の検索結果一覧から、任意の経路をタップ

2

時計

アラームやタイマーなどを設定したり利用したりすることができます。

1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「時計」

時計画面が表示されます。

アラームを設定する

1 時計画面で「アラーム」タブ

アラーム画面が表示されます。

2 「追加」、または編集したいアラームをタップ

3 必要な項目を設定

項目	説明
時刻	アラーム時刻を設定します。
繰り返し	繰り返しの設定をします。
アラーム音	アラーム音を設定します。
バイブレーション	アラーム鳴動時に本端末を振動させるかどうかを設定します。
ラベル	アラーム鳴動時に表示するメッセージを入力します。

4

アラームが追加または編集されます。

- 設定した時刻になるとアラームが鳴動します。

■ お知らせ

- アラーム画面で設定した各アラームの  /  をタップすると、アラームのON/OFFを切り替えます。
- 設定したアラームをロングタッチして  をタップすると、アラームを削除できます。
- 本端末の電源を切るときに以下の操作を行うと、アラームの設定時刻に自動的に電源が入り、アラームを動作させることができます。
 - 電源キーを1秒以上押す →  (電源を切る) → 「アラームは有効 (XX後に鳴動)」のチェックを付ける →  (タップして電源をOFF)
- 機内モードがOFFの状態から自動的に電源が入った場合、機内モードがONになります。ただし、アラーム鳴動後に、アラームを解除した場合 (スヌーズもOFFの状態) や鳴動時間を過ぎた場合には機内モードがOFFになります。航空機へ搭乗する際は、あらかじめアラームの設定をOFFにするか、「アラームは有効 (XX後に鳴動)」のチェックを外した状態で電源を切ってください。

■ アラームが鳴ったときは

設定した時刻になるとアラームが鳴動し、アラーム画面が表示されます。

- 「音量ボタン」(P.77) を「サイレント」に設定している場合、音量キーを押すと鳴動中のアラーム音をミュートにできます。「鳴動時間」(P.77) で設定した時間が経過すると、アラーム鳴動を停止します。以降は「スヌーズの設定」(P.77) に従って動作します。
- スヌーズ動作中に次の操作をすると、アラーム鳴動を停止します。また、「スヌーズの設定」の「スヌーズ回数」のカウンタはリセットされます。
 - 電源キーを押す
 - 「ここをタップしてX分間スヌーズ」をタップ (「スヌーズの設定」により数字が異なります)
 -  をタップ
- アラーム鳴動を停止し、さらにスヌーズをOFFにする場合は、次の操作をしてください。
 - 「スライドしてアラームをオフにする」を左右にスライド (スワイプ)
 - 音量キーを押す (「音量ボタン」を「解除」に設定している場合)
- ステータスバーを下にドラッグ → 「アラーム (スヌーズ)」をタップしてもスヌーズをOFFにできます。

アラームの詳細を設定する

1 アラーム画面で「設定」

2 必要な項目を設定

項目	説明
サイレントモード中のアラーム	サイレントモード（マナーモード）設定中もアラームを鳴らすかどうかを設定します。
鳴動時間	何も操作しないときのアラームの鳴動時間を設定します。
スヌーズの設定	スヌーズの間隔と回数を設定します。
音量ボタン	アラームが鳴動しているときに音量キーを押した場合の動作を設定します。

世界の時刻を設定する

世界の主要都市の時計を設定することができます。

都市を追加する

1 時計画面で「世界の時刻」タブ

世界の時刻画面が表示されます。

2 「追加」

3 都市を選択

追加した都市を削除する

1 世界の時刻画面で「都市の編集」

2 削除する都市の →

世界の時刻の基本設定をする

1 世界の時刻画面で「設定」

2 必要な項目を設定

項目	説明
日付と時刻	システム日時を設定します (P.108)。
自国の時計を表示	異なるタイムゾーンの場所に移動した場合、自動的に自国の時計を表示するかどうかを設定します。*
自国のタイムゾーン	自国のタイムゾーンを設定します。

※ 本端末は国際ローミング非対応のため、時刻が正しく表示されない場合があります。

都市の表示順を変更する

1 世界の時刻画面で2つ以上の都市を追加しているときに「都市の編集」

2 をドラッグして表示順を変更 →

ストップウォッチを利用する

ストップウォッチを利用することができます。

1 時計画面で「ストップウォッチ」タブ

2 「開始」

「ラップ」をタップすると、ラップタイムを計測できます。

3 「一時停止」

再び続きを計測するには「開始」、時間をリセットするには「リセット」をタップします。

タイマーを利用する

タイマーを利用することができます。

1 時計画面で「タイマー」タブ

2 ●をドラッグして時間を設定

時間は1分単位で設定できます。

- 1周するたびに30分加算されます。

3 「開始」

一時停止するには「一時停止」、続行するには「開始」、リセットするには「リセット」をタップします。

■ お知らせ

- 「アラーム音」をタップすると、アラーム音を設定することができます。

■ アラームが鳴ったときは

設定した時間が経過するとアラームが鳴動し、タイマー画面が表示されます。

アラームの鳴動を止めるには次の操作をしてください。

- 電源キーを押す
- 「スライドしてタイマーをOFF」を左右にスライド（スワイプ）
- をタップ

カレンダー

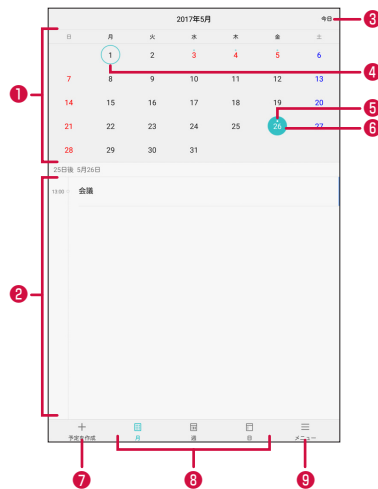
カレンダーを利用してスケジュール管理ができます。また、本端末のカレンダーをウェブ上のGoogleカレンダーなどと同期させることができます。

カレンダーを利用する

ここでは、「カレンダー」アプリからカレンダーを利用するときの操作を説明します。

カレンダーを表示する

- 1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「カレンダー」



カレンダー画面（月表示）

- 1 カレンダー
- 2 アジェンダ
選択している日の予定一覧が表示されます。
- 3 今日
タップすると、当日を含む表示に切り替わります。
- 4 当日
- 5 予定
登録した予定が表示されます。
- 6 カーソル

⑦ 予定を作成

予定を作成します (P.80)。

⑧ 表示切替アイコン

タップすると、月表示／週表示／日表示に切り替えられます。

⑨ メニュー

メニューを表示します (P.80)。

カレンダー画面のメニュー

カレンダー画面で「メニュー」をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 利用状況によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
年表示	年表示に切り替えます。
検索	キーワードを入力して登録されている予定を検索します。
移動	表示したいカレンダーの日付を設定して移動します。
表示するカレンダー	対象のアカウントや項目に登録されている予定を、カレンダーに表示するかどうかを切り替えます。 • 表示するカレンダー画面で「メニュー」をタップすると、アカウントを追加したり、同期するカレンダーを設定したりできます。 • 「com.android.nttdocomo」の  をタップしてONにすると、docomoのアカウントで管理されている予定を表示することができます。
設定	カレンダーの設定を変更します (P.81)。

カレンダーの予定を作成する

1 カレンダー画面で「予定を作成」

予定作成画面が表示されます。

2 必要な項目を設定

- 「詳細」をタップすると、表示されていない項目を確認できます。

項目	説明
タイトル	予定のタイトルを入力します。
終日	終日の予定にするかどうかを設定します。
開始	予定の開始日時を設定します。
終了	予定の終了日時を設定します。
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
繰り返し	予定を定期的に繰り返すかどうかを設定します。
アカウント	予定を登録するアカウントを選択します。
通知	予定の通知 (P.81) を設定します。 • 「通知を追加」の  をタップすると、通知の設定を追加できます。
場所	予定の場所を入力します。
説明	予定の説明を入力します。

3



予定を確認／編集／削除する

1 カレンダー画面で予定をタップ

予定詳細画面が表示されます。

■ 予定を編集する場合

① 「編集」

- 繰り返しを設定している予定の場合は、「一連の定期的な予定すべてを変更する」／「これ以降の予定すべてを変更する」をタップします。

② 予定を編集→

■ 予定を削除する場合

① 「削除」

- 繰り返しを設定している予定の場合は、「これ以降の予定」／「すべての予定」をタップします。

② 「削除」

■ お知らせ

- 「これ以降の予定すべてを変更する」や「これ以降の予定」は、繰り返しを設定している予定の場合、2回目以降の予定を選択しているときに表示されます。

予定の通知を確認／消去する

予定の通知を設定した場合、設定した時刻になると、ステータスバーにが表示されます。

1 ステータスバーを下にドラッグ

2 通知を確認／消去

■ 通知を確認する場合

① 確認する通知をタップ

■ 通知を消去する場合

① 通知を左右にフリック

カレンダーの設定を変更する

1 カレンダー画面で「メニュー」→「設定」

2 項目を設定

項目	説明
辞退した予定を非表示	招待を辞退した予定をカレンダーに表示するかどうかを設定します。
週番号を表示	カレンダー画面（月表示）の左側に、週番号を表示するように設定します。
週の開始日	週の開始日として表示する曜日を設定します。
週末のカスタマイズ	週末として表示する曜日を設定します。
自国タイムゾーン	タイムゾーンの異なる地域へ移動している間も、設定した自国のタイムゾーンのままを表示します。*
自国のタイムゾーン	自国のタイムゾーンを選択します。
通知	予定の通知を行うかどうかを設定します。
通知音の選択	予定通知時の通知音を設定します。
バイブレーション	予定通知時のバイブレーション動作を設定します。
ポップアップ通知	予定の通知日時になると、カレンダーの通知画面を表示するかどうかを設定します。
新規予定の通知時間	予定の通知時間の初期値を設定します。
新規予定の通知時間（終日）	終日予定の通知時間の初期値を設定します。

項目	説明
クイック返信	デフォルト返信メールを編集します。

※ 本端末は国際ローミング非対応のため、時刻が正しく表示されない場合があります。

メモ

テキストを入力して、メモとして保存できます。

メモを作成する

- 1 ホーム画面で「ドコモクラウド」→「メモ」
- 2 「メモ」タブ→→テキストを入力
「入力オプションを表示」をタップすると、日時やアラームなどの設定ができます。
- 3 「保存」

メモを削除する

- 1 メモ一覧画面で削除するメモをロングタッチ
- 2 「1件削除」→「削除する」

メモを編集する

- 1 メモ一覧画面で編集するメモをロングタッチ
- 2 「編集」→メモを編集→「保存」

音声レコーダー

音声を録音することができます。

音声を録音する

- 1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「音声レコーダー」
- 2 「開始」
 - 一時停止する場合は、「一時停止」をタップします。「再開」をタップすることで、録音を再開できます。
- 3 「停止」→録音ファイル名を入力→「保存」
 - 録音をキャンセルする場合は、「停止」をタップした後に「削除」をタップします。

録音された音声を聞く

- 1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「音声レコーダー」
- 2 「録音ファイル」
録音ファイル一覧画面が表示されます。
- 3 聞きたい音声をタップ
音声再生されます。

録音ファイル名を変更する

- 1 録音ファイル一覧画面で、名前を変更したいファイルをロングタッチ→「名前変更」
- 2 ファイル名を変更→「OK」

録音された音声を削除する

- 1 録音ファイル一覧画面で、削除したいファイルをロングタッチ
- 2 削除したい音声を選択→「削除」→「削除」

電卓

四則演算（＋、－、×、÷）や関数計算などができます。

1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「電卓」

電卓画面が表示されます。

横画面表示では関数電卓になります。

2 キーをタップして計算

■ お知らせ

- 電卓画面で計算結果の数字をロングタッチして、数字の貼り付け／コピーができます。電卓の表示欄や他のアプリに貼り付けて利用できます。
- をタップすると、入力した数値や演算子、計算結果が削除されます。

トルカ

トルカとは、お気に入りのお店のお得なクーポンや便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。メール、ウェブダウンロード、Bluetooth機能などさまざまな方法で取得できます。取得したトルカは簡単に最新の情報に更新できます。

トルカの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

■ お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- Bluetooth機能でトルカを取得する際には、トルカアプリのBluetooth機能をONにする必要があります。
- コンテンツ提供者の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
 - 更新／トルカの共有／地図表示

ドコモデータコピー

「ドコモデータコピー」は、本端末に保存されているデータを他の端末へコピーしたり、バックアップ／復元をしたりするためのアプリです。機種変更時のデータ移行や、大切なデータの定期的なバックアップにご利用ください。

データ移行

インターネットを使用しない1対1のダイレクト通信を利用して、電話帳、画像などのデータを移行先の端末へ直接コピーすることができます。コピー元端末とコピー先端末の両方で「データコピー」を起動し、2台並べた状態で利用してください。

1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「データコピー」→「データ移行」

- 画面の指示に従って操作してください。
- コピー元端末とコピー先端末の両方に本アプリが必要です。インストールされていない場合、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
- ご利用の機種やOSにより、通信方法は異なります。
- 対応機種や詳しい使い方は、ドコモのホームページをご覧ください。

microSDカードへ保存・復元

microSDカードを利用して、電話帳、ドコモメールなどのデータの移行やバックアップができます。

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。

- バックアップ対象の電話帳は、docomoのアカウントに登録されている電話帳です。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 本端末のメモリ構成上、microSDカードを取り付けていない場合、静止画・動画などのデータは本端末に保存されます。本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

バックアップする

電話帳、ドコモメール、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

- 1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「データコピー」→「バックアップ&復元」
- 2 「バックアップ」→バックアップするデータにチェックを付ける→「バックアップ開始」→「開始する」
 - 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。
- 3 「トップに戻る」

復元する

microSDカードにバックアップした電話帳、ドコモメール、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

- 1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「データコピー」→「バックアップ&復元」
- 2 「復元」→復元するデータ種別の「選択」→復元するデータにチェックを付ける→「選択」
- 3 復元方法を選択→「復元開始」→「開始する」
 - データ種別によっては、復元方法の選択は不要です。
 - 選択したデータが本端末に復元されます。
- 4 「トップに戻る」

電話帳をドコモのアカウントにコピーする

Googleアカウントの連絡先をdocomoのアカウントにコピーします。

- 1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「データコピー」→「バックアップ&復元」
- 2 「電話帳アカウントコピー」→コピーする電話帳の「選択」→「上書き」／「追加」
 - コピーしたアカウントがdocomoのアカウントに保存されます。
- 3 「OK」

データ保管BOXへ保存・復元

音楽のデータをデータ保管BOXを利用してバックアップ・復元します。

- 1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「データコピー」→
⋮→「データ保管BOXへバックアップ・復元」
- 2 「バックアップ」／「復元」
 - 画面の指示に従って操作してください。
 - ドコモクラウドへログインしていない場合、確認画面が表示されます。

■ お知らせ

- データ保管BOXでの定期バックアップ設定をご利用になる際、パケット通信料が高額になる場合がありますので、ご注意ください。

本体設定

設定メニューについて

本端末は、設定メニューからさまざまな設定の変更や設定内容の確認ができます。

- 本端末の設定の状態によっては、項目が表示／選択できない場合があります。

1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」

設定メニューが設定内容の種類ごとに表示されます。

- クイック設定パネルで  をタップしても設定メニューを表示できません。

無線とネットワーク

ネットワーク接続やWi-Fi、Bluetooth機能などの無線接続についての設定をします。

項目	説明
機内モード	P.87
Wi-Fi	P.88
Bluetooth	P.124
データ使用量	P.90
その他	P.91

機内モードを設定する

インターネット接続、メールの送受信など電波を発する機能をすべて無効にします。

1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」

2 「機内モード」の をタップしてONにする

ステータスバーに  が表示されます。

■ お知らせ

- 電源キーを1秒以上押す →  (機内モード) をタップするか、クイック設定パネル (P.38) で「機内モード」をタップしても、機内モードを設定できません。
- 機内モードを設定すると、Wi-Fi機能やWi-Fiテザリング、Bluetooth機能がOFFになります。ただし、Wi-Fi機能とBluetooth機能は機内モード設定中でもONにすることができます。
電波の使用を禁止された区域では、これらの機能を使用しないでください。

Wi-Fi機能を利用する

Wi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

■ Bluetooth機器との電波干渉について

無線LAN (IEEE802.11b/g/n) とBluetooth機能は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。その場合は以下の対策を行ってください。

- ・ 本端末とBluetooth機器は10m以上離してください。
- ・ 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

アクセスポイントに自動で接続する

利用可能なアクセスポイントを検索して接続することができます。

1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」

2 「Wi-Fi」

Wi-Fi設定画面が表示されます。

3 「Wi-Fi」の  をタップしてONにする

利用可能なアクセスポイントが自動的に検出され、一覧表示されます。

4 接続するアクセスポイントをタップ

- ・ 「暗号化済み」と表示されたアクセスポイントはセキュリティで保護されているため、接続するにはパスワードを入力し、「接続」をタップします。
◎をタップすると、入力したパスワードを表示できます。
- ・ WPSに対応しているアクセスポイントは簡単な操作で登録ができます。
手順4で「メニュー」→「詳細設定」→「WPS接続」／「WPS PIN接続」でアクセスポイントを登録してください。

■ お知らせ

- ・ Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fi接続が優先されます。Wi-Fi接続が切断されると、自動的にLTE／3Gネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったまままでご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- ・ 利用可能なアクセスポイントを手動でスキャンする場合は、Wi-Fi設定画面で「スキャン」をタップします。
- ・ Wi-Fi機能を利用してドコモサービスを利用する場合は、あらかじめdアカウントを設定しておいてください。
ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「ドコモのサービス／クラウド」 → 「dアカウント設定」から設定することができます。
- ・ インターネット接続されていないアクセスポイントに接続すると、ステータスバーに  が表示され、Wi-Fiではなくモバイルネットワークで通信が行われる場合があります。

アクセスポイントに手動設定で接続する

非公開に設定されているアクセスポイントに接続する場合は、設定を手動入力する必要があります。

- 設定に必要な情報は、お使いのWi-Fiアクセスポイントの取扱説明書をご参照ください。社内LANに接続する場合や公衆無線LANサービスをご利用の場合は、接続に必要な情報をあらかじめネットワーク管理者またはサービス提供者から入手してください。

- 1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」→「Wi-Fi」
- 2 「Wi-Fi」のをタップしてONにする
- 3 「ネットワークの追加...」
- 4 ネットワークSSIDを入力→「セキュリティ」欄をタップ→セキュリティ方法を選択→パスワードを入力
セキュリティ方法は「なし」「WEP」「WPA/WPA2 PSK」「802.1x EAP」から選択できます。
- 5 「接続」

静的IPアドレスを使用する

- 1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」→「Wi-Fi」
- 2 「Wi-Fi」のをタップしてONにする
- 3 接続するアクセスポイントをタップ
- 4 「詳細オプションを表示する」にチェックを付ける
- 5 「IP設定」欄をタップ→「静的」→項目をタップして入力→「接続」

Wi-Fi接続を切断する

- 1 Wi-Fi設定画面で切断するアクセスポイントをタップ→「切断」

Wi-Fi Directで他の機器と接続する

アクセスポイントを経由せずに、Wi-Fi Direct対応機器どうして直接Wi-Fi接続ができます。

- 1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」→「Wi-Fi」
- 2 「Wi-Fi」のをタップしてONにする
- 3 「Wi-Fi Directの設定」

Wi-Fi Directの設定画面が表示され、Wi-Fi Direct対応機器の検出が開始されます。

- 4 検出されたWi-Fi Direct対応機器をタップ
 - 接続を切断するには、接続している機器をタップ→「OK」をタップします。

■ 他のWi-Fi Direct対応機器から接続要求を受けた場合

他の機器から接続への招待画面が表示された場合は、「接続」をタップしてください。

■ お知らせ

- 本端末のWi-Fi Direct機能は、Huawei製品以外の機器との接続は保証いたしません。
- Wi-Fi Directを利用してデータ交換などを行うには、Wi-Fi Directに対応したアプリをインストールする必要があります。

Wi-Fiの詳細設定をする

- 1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」→「Wi-Fi」
- 2 「Wi-Fi」のをタップしてONにする
- 3 「メニュー」→「詳細設定」

項目	説明
ネットワークの通知	オープンネットワークのアクセスポイントが検出されたことを通知するように設定します。
スリープ時にWi-Fi接続を維持	画面が消灯したとき、Wi-Fi接続を維持しないように設定できます。また、Wi-Fi接続を常に維持するか、充電時のみ維持するように設定することもできます。 • お買い上げ時は「維持する」に設定されています。「充電中のみ維持する」または「維持しない（データ通信量が増加）」に設定すると、充電していない状態で画面の消灯から約32分経過すると、Wi-Fi接続が切断されます。
Hotspot 2.0	Wi-Fi機能がONのとき、利用可能なHotspot 2.0対応アクセスポイントに自動的に接続するように設定します。
MACアドレス	本端末のMACアドレスを表示します。
IPアドレス	本端末のIPアドレスを表示します。
証明書のインストール	Wi-Fi証明書をインストールします。
WPS接続	WPS対応のアクセスポイントに接続します(P.88)。
WPS PIN接続	

データ使用量

モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にしたり、データ使用量の上限を設定してモバイルデータ通信を制限したりできます。

モバイルデータ通信を有効にする

- 1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」
- 2 「データ使用量」
- 3 「モバイルデータ」のをタップしてONにする
モバイルデータ通信が有効になります。

■ お知らせ

- 手順3で「メニュー」→「バックグラウンドデータ制限」→「OK」をタップすると、バックグラウンドのモバイルデータ通信を制限できます。

データ使用量の上限を設定する

- 1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」
- 2 「データ使用量」
- 3 「モバイルデータ制限を設定」の→注意事項の詳細を確認→「OK」
データ使用量の上限値が5.0GBに設定されます。

■ お知らせ

- 表示されるデータ使用量は目安です。実際のデータ使用量はMy docomoからご確認ください。
- データ使用量が指定の上限に達した場合は、モバイルデータ通信が無効となります。ご注意ください。
モバイルデータ通信を有効にするには、一時停止中をお知らせする画面で「再開」をタップするか、ステータスバーを下にドラッグ→「モバイルデータが無効になりました」→「再開」をタップします。
- データ使用量の上限値は、グラフ内のバーの右端を上下にドラッグすると変更できます。

その他の接続機能を利用する

テザリングやVPNなどの設定をします。

- 1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」
- 2 「その他」

項目	説明
SIM情報設定	P.91
モバイルネットワーク	P.93
テザリング	P.94
VPN	P.96

SIM情報設定を行う

通信に必要なSIM情報をダウンロードして設定します。SIM情報の設定や確認、ドコモeSIMカードの初期化などができます。

SIM情報を設定する

SIM情報の初期設定が終了していない場合、「SIM情報設定」から設定できます。

認証操作が必要になる場合があります。あらかじめ画面ロックの解除方法を設定しておいてください (P.103)。

- 1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「その他」 → 「SIM情報設定」
- 2 「OK」
 - 「SIM情報設定」を選択したときに画面ロックの解除方法の入力、または指紋による認証をしない場合は、「認証設定」の をタップしてOFFにしてください。
- 3 認証を行う
 - SIM情報設定画面が表示されます。
 - 画面ロック設定画面が表示された場合は「画面ロック設定へ」→画面の指示に従って設定し、再度手順1から操作してください。
 - 手順2で「認証設定」をOFFにした場合、認証画面は表示されません。

4 項目を設定

項目		説明
追加		P.92
メニュー	認証設定	「SIM情報設定」を選択したときに画面ロックの解除方法の入力、または指紋による認証をするかどうかを設定します。
	SIM情報追加 (QRコード)	QRコードを読み取り、SIM情報をサーバーからダウンロードして追加します。 「直接入力」をタップすると、接続サーバーアドレスを入力してSIM情報を追加できます。
	接続サーバーのアドレス表示・変更	現在の接続先を確認／変更したり、接続先を初期化したりします。
	SIMカード初期化	ドコモeSIMカード内のすべてのSIM情報を削除します。初期化すると通信ができなくなり、接続サーバーアドレスも初期化されます。 • 「データの初期化」(P.116)を行っても、SIM情報は削除されません。
EID		EID (eSIMカード識別番号) を表示します。

■ お知らせ

- SIM情報が有効に設定されていないと、モバイル通信および一部のアプリが利用できません。
- ドコモをご利用の場合は、接続サーバーアドレスを変更しないでください。
- ドコモeSIMカードを初期化しても、回線契約は解約されません。

■ SIM情報を追加する

1 SIM情報設定画面で「追加」

- 認証画面が表示され、認証を行うとサーバーに接続します。

2 「OK」

- SIM情報のダウンロード確認をします。

3 「OK」

- EID (eSIMカード識別番号) の入力画面が表示されます。

4 EID (eSIMカード識別番号) の下4桁を入力→「OK」

- EID (eSIMカード識別番号) は、本端末が入っていた箱の側面にあるラベルを確認して入力してください。

5 「有効にする」

- 設定が完了すると、通知音とともに「処理が正常に終了しました。電話番号 XXX-XXXX-XXXX」と通知される場合があります。

■ お知らせ

- 回線契約中のSIM情報が有効に設定されている状態でSIM情報を追加設定する場合は、パケット通信料がかかる場合があります。

■ SIM情報を確認・管理する

SIM情報設定画面では、SIM情報を確認できます。また、SIM情報の表示名を変更したり、有効／無効を設定したりできます。お買い上げ時（初期設定後）は「NTT DOCOMO」が表示名に設定されます。

1 SIM情報設定画面でSIM情報を選択

項目	説明
表示名の変更	SIM情報の表示名を設定します。
ICCID	SIM情報の識別番号を表示します。
通信会社	SIM情報を提供する通信会社を表示します。
有効／無効	SIM情報の状態を有効／無効に切り替えます。

モバイルネットワークを設定する

モバイルネットワークの各種設定を行います。

1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」→「その他」

2 「モバイルネットワーク」

項目	説明
モバイルデータ通信	モバイルデータ通信のON／OFFを設定します。
アクセスポイント名	P.93

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/spmode/>

mopera U、ビジネスmoperaインターネットをご利用になる際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。

mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

<https://www.mopera.net/>

- テザリングを有効にしているときは、アクセスポイントの設定はできません（P.94）。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」→「その他」→「モバイルネットワーク」

2 「アクセスポイント名」

アクセスポイントを追加で設定する

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「その他」 → 「モバイルネットワーク」
- 2 「アクセスポイント名」 → 「メニュー」 → 「新しいAPN」
- 3 各項目を入力 → 「保存」

■ お知らせ

- アクセスポイントの設定の際に、MCC/MNCを初期値（440/10）以外に変更すると、APN画面上に表示されなくなりますので、変更しないでください。APN画面上に表示されなくなった場合には、初期設定にリセットするか、アクセスポイントを追加し直してください。

アクセスポイントを初期化する

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「その他」 → 「モバイルネットワーク」
- 2 「アクセスポイント名」 → 「メニュー」 → 「初期設定にリセット」

テザリング機能を利用する

テザリングとは、本端末をアクセスポイントとして利用することで、Wi-FiやUSBケーブル A to B 01（別売品）で接続したWi-Fi対応通信機器やパソコンを、インターネットに接続できるようにする機能です。

- 同時に接続できる機器数は、Wi-Fi対応通信機器8台、USBケーブル A to B 01で接続したパソコン1台の計9台です。

Wi-Fiテザリングを設定する

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応通信機器をインターネットに接続できます。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「その他」
- 2 「テザリング」 → 「Wi-Fiアクセスポイント」 → SSID名の  をタップしてONにする

■ お知らせ

- Wi-Fiネットワーク接続中にWi-Fiテザリングを有効にすると、パケット通信に切り替わります。
- 接続できる通信端末の数を変更するには、ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「その他」 → 「テザリング」 → 「Wi-Fiアクセスポイント」 → 「Wi-Fiアクセスポイントを設定」 → 「許可されている最大接続数」欄をタップしてユーザー数を設定します。
- Wi-Fiテザリングで接続されている通信機器のリストを確認するには、ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「その他」 → 「テザリング」 → 「Wi-Fiアクセスポイント」 → 「デバイスリスト」をタップします。許可された通信機器だけをリストに表示させるには、「許可されたデバイス」 → 「許可されたデバイス」をタップします。

■ ネットワークSSID および暗号化タイプ（パスワード）を確認する

お買い上げ時は、ネットワークSSIDは「d-01J_XXXX」（Xは英数字）、暗号化タイプは「WPA2 PSK」、パスワードは端末ごとに異なる8桁の英数字が設定されています。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「その他」
- 2 「テザリング」 → 「Wi-Fiアクセスポイント」 → 「Wi-Fiアクセスポイントを設定」
- 3 ネットワークSSIDおよび暗号化タイプ（パスワード）を確認

-  をタップすると、パスワードを表示できます。

■ ネットワークSSIDおよび暗号化タイプ（パスワード）を変更する場合

- ① ネットワークSSIDおよび暗号化タイプ（パスワード）を変更 → 「保存」
 - 暗号化タイプは「なし」または「WPA2 PSK」から選択できます。

■ お知らせ

- 「データの初期化」（P.116）を行うと、パスワードも初期化されます。

USBテザリングを設定する

本端末をUSBケーブル A to B 01（別売品）を使用してパソコンに接続し、アクセスポイントとして利用することで、パソコンをインターネットに接続できます。

- 本端末との接続のしかたや接続可能なパソコンの動作環境は、「外部機器接続」（P.127）をご参照ください。

- 1 本端末とパソコンをUSBケーブル A to B 01で接続
- 2 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「その他」
- 3 「テザリング」

- 「USBテザリング」の下に「USB接続中。テザリングを有効にする」と表示されていることを確認してください。

- 4 「USBテザリング」の  をタップしてONにする

■ USBテザリングの設定を解除する場合

- ① 「USBテザリング」の  をタップしてOFFにする
- ② パソコン側のタスクトレイで本端末の安全な取り外しを行う
- ③ USBケーブル A to B 01を取り外す

■ お知らせ

- USBテザリング設定中は、本端末のmicroSDカードまたは内部ストレージをUSBストレージとしてパソコンから利用することはできません。

VPNに接続する

VPN (Virtual Private Network) は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。本端末からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手する必要があります。

VPNを追加する

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「その他」
- 2 「VPN」
VPN設定画面が表示されます。
- 3 「VPNネットワークの追加」
 - VPNのご利用には、画面ロックの解除方法を設定しておく必要があります。画面ロックについての注意画面が表示された場合は、内容を確認 → 「設定」をタップしたあと、画面の指示に従って設定してください。
- 4 ネットワーク管理者の指示に従って項目を設定
 - 「キャンセル」をタップすると、設定を中止します。
- 5 「保存」

VPNに接続する

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「その他」 → 「VPN」
- 2 接続するVPNをタップ
- 3 必要な認証情報を入力 → 「接続」
VPNに接続するとステータスバーに  が表示されます。

VPNを切断する

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「その他」 → 「VPN」
- 2 切断するVPNをタップ → 「切断」
VPNが切断されます。

VPN設定画面のメニュー

VPN設定画面でVPNをロングタッチすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
ネットワークの編集	VPN設定の各項目を編集します。
ネットワークを削除	VPNを削除します。

デバイス

画面や通知、音など、本端末の動作についての設定をします。

項目	説明
画面	P.97
通知設定	P.98
音	P.98
ナビゲーション	P.99
電池	P.100

画面

画面の明るさやスリープなどについて設定します。

- 1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」
- 2 「画面」

項目	説明
壁紙	ホーム画面の壁紙を設定します。
フォントサイズ	文字サイズを設定します。
スクリーンセーバー	スクリーンセーバーを有効にします。
通知ランプ	メッセージの受信時などに通知LEDを点滅させて通知します。
画面の明るさ	P.97
色温度	P.97
カラーモード	画面のカラーモードを設定します。
スリープ	画面が消灯するまでの時間を設定します。

項目	説明
画面の自動回転	本端末の向きにあわせて、自動的に縦表示／横表示を切り替えるかどうかを設定します。
視力保護モード	目の負担を軽減するために画面から発せられる青い光を弱くするかどうかを設定します。

画面の明るさの調整

- 1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」
- 2 「画面」 → 「画面の明るさ」
- 3 スライダーを左／右にドラッグ
 - 「明るさを自動調整」の をタップしてONにすると、周囲の明るさに応じて画面の明るさが自動的に調整されます。

画面の色温度の調整

暖色／寒色のバランスを調整できます。

- 1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」
- 2 「画面」 → 「色温度」
- 3 カラーサークル内の設定する色の領域をタップ
 - 「デフォルト」を選択すると、お買い上げ時の設定に戻ります。
 - 「暖色」を選択すると黄色味が強くなり、「寒色」を選択すると青色味が強くなります。
- 4 「OK」

通知設定

通知の設定をします。

1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」

2 「通知設定」

項目	説明
割り込み	通知鳴動制限モードを「優先度の高い通知のみ鳴動」に設定したときの通知条件や、通知の鳴動制限のON/OFF、通知鳴動制限モードの選択ができます。 また、自動で通知の鳴動制限をON/OFFにするためのルールを追加したり、追加したルールのON/OFFを設定したりできます。
光を点滅させて通知	メッセージの受信時などに通知LEDを点滅させて通知します。
端末がロックされているとき	ロック画面にすべての通知を表示するかどうかを設定します。
アプリの通知	各アプリからの通知を表示するかどうかを設定します。
通知へのアクセス	通知を読み取るアプリに、通知へのアクセスを許可するかどうかを設定します。

音

通知音などの音量やマナーモード、操作時の音／バイブレーションを設定します。

1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」

2 「音」

項目	説明
音量	P.99
サイレントモード	サイレントモード（マナーモード）を設定します（P.99）。
サイレントモード時のバイブ	バイブレーション（マナーモード）を設定します（P.99）。
SWSモード	音源を分析し、適切な音響効果が設定されます。 • 他のアプリの音響設定を有効にしている場合には、SWSモードでの効果が最大限発揮できない場合があります。
デフォルトの通知音	通知音を設定します。
タッチ操作音	アプリやメニューを選択したときの操作音を鳴らすかどうかを設定します。
画面ロックの音	画面ロック／ロック解除時に画面ロックの音を鳴らすかどうかを設定します。
タッチ操作バイブ	ソフトキー（P.37）などをタップしたり、画面ロックの解除パターンやPINを入力したりした場合などに、バイブレーション動作をするかどうかを設定します。

音量を調節する

通知音、メディア再生音、アラームの音量を調節できます。

- 1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」
- 2 「音」 → 「音量」
- 3 各項目の音量バーのスライダーを左／右にドラッグ → 「閉じる」

マナーモードを設定する

公共の場などで、本端末から鳴る音を周囲に出さないように設定します。

- マナーモードを設定している場合でも、カメラのシャッター音や撮影開始音／終了音、スクリーンショット音はスピーカーから鳴ります。
- マナーモードを設定しても、音楽・動画の再生音やアラーム音は鳴りますが、「音量」(P.99) の「メディア」と「アラーム」で音を鳴らさないようにできます。

■ サイレントモード（マナーモード）を設定する

- 1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」
- 2 「音」
音設定画面が表示されます。
- 3 「サイレントモード」の をタップしてONにする
 - 音量上／下キーを押して音量調節バーを表示 → が表示されるまで音量下キーを押すか、電源キーを1秒以上押す → 「サイレント」が表示されるまで音量下キーを押しても、サイレントモード（マナーモード）を設定できます。

■ バイブレーション（マナーモード）を設定する

- 1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」
- 2 「音」
音設定画面が表示されます。
- 3 「サイレントモード」の をタップしてONにする
- 4 「サイレントモード時のバイブ」の をタップしてONにする
 - 音量上／下キーを押して音量調節バーを表示 → が表示されるまで音量下キーを押すか、電源キーを1秒以上押す → 「バイブ」が表示されるまで音量下キーを押しても、バイブレーション（マナーモード）を設定できます。

■ お知らせ

- 音量上／下キーを押す → 音量調整バーの をタップすると、 (メディア再生音) や (アラーム) の音量を調節できます。

ナビゲーション

指紋センサーをソフトキーとして使用するかどうかを設定します。

- お買い上げ時は、「ナビゲーションキー」はONに設定されています。

- 1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」
- 2 「ナビゲーション」
- 3 「ナビゲーションキー」の をタップしてONにする

■ お知らせ

- 本機能をONにすると、指紋センサーで次の操作ができます。
 - 指紋センサーをタップ：直前の画面表示に戻ります。
 - 指紋センサーをロングタッチ：ホーム画面に戻ります。
 - 指紋センサーを左右にスライド（スワイプ）：最近使用したアプリや機能の一覧を表示します。

電池

内蔵電池の使用状況を確認します。

1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」

2 「電池」

項目	説明
電池残量表示 (%)	ステータスバーの電池アイコンの左側に電池残量を表示するかどうかを設定します。
電池性能表示	内蔵電池の充電能力を確認します。
××%・×××××	電池残量と充電状態を表示します。
電池使用時間	電池使用時間が表示されます。

■ お知らせ

- 「電池使用時間」の下には、電池を使用したアプリや機能が表示され、使用状況の詳細を確認できます。
- アプリごとの電池消費を抑えるために、端末を使用していないときやアプリが数日間使用されていないときにアプリを無効にします（バッテリー最適化）。

バッテリー最適化の設定を変更するには、ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「アプリ」 → 「詳細設定」 → 「バッテリー最適化を無視」 → 画面右上に表示される ✓ → 「すべてのアプリ」 → 設定を変更するアプリを選択 → 「許可しない」 / 「許可」 → 「OK」 をタップします。

プライバシーとセキュリティ

指紋認証機能や画面ロックなど、セキュリティについての設定をします。

項目	説明
指紋ID	P.101
画面ロックとパスワード	P.102
スマートアシスト	P.103

指紋ID

本端末に指紋を登録することで、指紋認証機能を利用して画面ロックの解除などができます。指紋認証は、登録した指で指紋センサーに触れて行います。

指紋認証機能を利用する

■ 指紋認証機能利用時のご注意

- 指紋認証は指紋の特徴情報を利用するため、特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 認証性能（指紋センサーに正しく触れた際に指紋が認証される性能）は、お客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を拭く、手を洗う、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
 - 指に汗や脂などが多く付着して汚れている／濡れている
 - 泥や油などで指が汚れている
 - お風呂上がりなどで指がふやけている
 - 指が乾燥している
 - 手荒れや、指に損傷（切傷やただれなど）がある
 - 太ったりやせたりして指紋が変化した

- 指の表面が磨耗して指紋が薄い
- 登録時と認証時の指の表面状態が極端に異なる
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では第三者に本端末を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関して、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時のご注意

- 指紋センサーが汚れると認証性能が低下したり、指紋の読み取りができなくなったりすることがあります。指紋センサーの表面は時々清掃してください。
- ぶついたり、強い衝撃を与えないでください。故障および破損の原因となることがあります。
- 表面を引っかいたり、先の尖ったものでつついたりしないでください。指紋センサーに傷が付くことがあります。
- 指紋センサーにシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。

指紋を登録する

指紋認証に利用する指紋を登録します。

- 指紋は5件まで登録できます。

1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」

2 「指紋ID」

指紋管理画面が表示されます。

- 画面ロックの解除方法の選択画面が表示されたときは、画面の指示に従って解除方法（「PIN」または「パスワード」）を設定してください。設定した画面ロックの解除方法は、指紋認証ができない場合に利用します。
- 画面ロックの解除方法を入力する画面が表示された場合は、設定した解除方法を入力します。

3 「新しい指紋」

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- 登録の完了後に「名前変更」をタップすると、指紋の名前を変更できます。

■ お知らせ

- 画面ロックの解除時に指紋認証を利用しない場合は、指紋管理画面で「ロック解除画面」の  をタップしてOFFにします。
- Safeボックス (P.122) を開くときに指紋認証を利用する場合は、指紋管理画面で「Safeボックスへのアクセス」の  をタップ→画面の指示に従って操作します。
- 登録した指紋を削除するには、指紋管理画面で削除する指紋をタップ→「削除」→「削除」をタップします。
- 登録した指紋の指を確認するには、指紋管理画面で「指紋認識」→画面の指示に従って操作します。

指紋認証を行う

1 ロック画面／指紋認証画面で、指紋センサーに登録した指で触れる

- ロック画面で  をタップするか、Safeボックスなどの指紋認証画面で解除方法の入力に切り替える項目をタップすると、設定した画面ロックの解除方法を入力してロックを解除できます。

■ 指紋認証に失敗した場合

指紋認証に5回続けて失敗すると、しばらくしてから、または30秒後に指紋認証を行うようメッセージが表示されます。

- ロック画面で  をタップするか、指紋認証画面で解除方法の入力に切り替える項目をタップすると、解除方法を入力してロックを解除できます。

画面ロックとパスワード

画面ロックについての設定をします。

1 ホーム画面で →「アプリ」タブ→「設定」

2 「画面ロックとパスワード」

項目	説明
画面のロック	P.103
Smart Lock	本端末の持ち運びを検知したときや、登録した場所、端末、音声を認識したとき、ロック画面の  をタップするだけで画面ロックを解除できるように設定します。 画面ロックの解除方法を「タッチ」や「なし」以外に設定した場合に利用できます。
ロック画面に表示する署名	ロック画面上に表示する所有者情報を入力します。

画面ロックの解除方法を設定する

画面ロックを解除するときに、あらかじめ設定したロック解除操作を行わないと本端末を使用できないように設定します。

- 1 ホーム画面で **田** → 「アプリ」タブ → 「設定」
- 2 「画面ロックとパスワード」 → 「画面のロック」

- 画面ロックの解除方法を「なし」「タッチ」以外に設定している場合は、設定した解除方法を入力します。

項目	説明
タッチ	 をタップして画面ロックを解除するように設定します。
パターン	4つ以上の点を結ぶパターンを設定し、パターンの入力で画面ロックを解除するように設定します。
PIN	4～16桁の数字で画面ロックを解除するように設定します。
パスワード	英字1文字以上を含む4～16桁の英数字と半角記号のパスワードで、画面ロックを解除するように設定します。
なし	ロック画面を表示しないように設定します。

■ 画面ロックの解除に失敗した場合

パターン、PIN、パスワードを設定している場合に、入力に5回続けて失敗すると、30秒後に再度入力するようメッセージが表示されます。

- パターンやPIN、パスワードを忘れた場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

■ お知らせ

- 「パターン」に設定した場合、画面ロックを解除するときに指でなぞった軌跡を表示するかどうかを設定できます。ホーム画面で **田** → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「画面ロックとパスワード」 → 「パターンを表示する」の  をタップしてONにします。
- 「なし」／「タッチ」以外に設定した場合、「データの初期化」(P.116)を行うときに、設定中の解除方法の入力が必要になります。

スマートアシスト

本端末の電源を自動的にON／OFFにするタイマーを設定します。

- 1 ホーム画面で **田** → 「アプリ」タブ → 「設定」
- 2 「スマートアシスト」 → 「電源ON／OFFタイマー」
- 3 「電源OFFタイマー」／「電源ONタイマー」の  をタップしてONにする
- 4 「電源をOFFにする時間」／「電源をONにする時間」 → 時間を入力 → 「OK」
- 5 「繰り返し」 → 繰り返し方法を選択

アカウント

アカウントの登録やGoogleアカウントの設定など、アカウントについての設定をします。

項目	説明
アカウント	P.104
Google	P.105

アカウント

Googleなど、オンラインサービスのアカウントを本端末に設定し、情報の同期やアップデートができます。

- 初期設定（P.34）でGoogleアカウントを設定しなかった場合は、GmailやGoogle Playなどの初回利用時にもアカウントの設定画面が表示されます。Googleアカウントを設定することで、GmailやGoogle PlayなどGoogle提供のオンラインサービスを利用できるようになります。
- ホーム画面で **田** → 「アプリ」 タブ → 「設定」 → 「アカウント」 → 「メニュー」 → 「データの自動同期」 にチェックを付けると、Googleなどのオンラインサービスの情報を自動的に同期することができます。

アカウントを追加する

- ホーム画面で **田** → 「アプリ」 タブ → 「設定」
- 「アカウント」 → 「アカウントを追加」
- 追加するアカウントのサービスをタップ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

アカウントの設定をする

アカウントの設定をします。

- データの同期など、一部自動的に通信を行う仕様となっており、通信料がかかる場合があります。
- 設定内容は選択したアカウントにより異なります。

- ホーム画面で **田** → 「アプリ」 タブ → 「設定」
- 「アカウント」 → アカウントの種類をタップ → 必要に応じて設定するアカウントをタップ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

■ お知らせ

- 同期させる項目を設定するには、手順2の後に同期する項目の  をタップしてONにします。

アカウントを手動で同期する

- ホーム画面で **田** → 「アプリ」 タブ → 「設定」
- 「アカウント」 → アカウントの種類をタップ → 必要に応じて同期するアカウントをタップ
- 「今すぐ同期」
 - 同期中に「同期をキャンセル」をタップすると、同期をキャンセルできます。

アカウントを削除する

本端末からオンラインサービスのアカウントや連絡先、設定情報などを削除します。

- 本端末からアカウントを削除しても、ウェブ上から情報は削除されません。

- 1 ホーム画面で **田** → 「アプリ」 タブ → 「設定」
- 2 「アカウント」 → アカウントの種類をタップ → 必要に応じて削除するアカウントをタップ
- 3 「アカウントを削除」 → 「アカウントを削除」

■ お知らせ

- docomoのアカウントは削除できません。
- アカウントを他のアプリで使用していて削除できない場合は、「データの初期化」(P.116)を行うとアカウントを削除できます。ただし、「データの初期化」を行うと、お買い上げ時の状態にリセットされるため、インストールしたアプリや登録情報などのデータが消去されます。

Google

Googleのアカウントやサービスに関する、情報や設定の確認、変更、削除などができます。

- 1 ホーム画面で **田** → 「アプリ」 タブ → 「設定」
- 2 「Google」
- 3 項目を設定

アプリ

ドコモのサービスに関する設定をしたり、本端末にインストールしているアプリを管理したりします。

項目	説明
ドコモのサービス／クラウド	P.105
アプリ	P.106

ドコモのサービス／クラウド

ドコモのサービスやクラウドの設定を行います。

- 1 ホーム画面で **田** → 「アプリ」 タブ → 「設定」
- 2 「ドコモのサービス／クラウド」

項目	説明
dアカウント設定	ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、端末に登録されている生体情報(指紋)を利用したdアカウント認証の設定もできます。
ドコモクラウド	ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定を行います。
ドコモアプリ管理	ドコモが提供するアプリのアップデートの確認などを行います。
おすすめ使い方ヒント	操作や利用状況に合わせておすすめ使い方ヒントを表示するように設定したり、過去に表示されたヒントを確認したりします。
ドコモアプリパスワード	ドコモアプリで利用するパスワードを設定します。 • お買い上げ時は「0000」に設定されています。

項目	説明
オートGPS	オートGPSの設定や、履歴の確認、低電力時動作設定などを行います。
ドコモ位置情報	イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
遠隔初期化	遠隔操作による端末内データなどを初期化するサービスを利用するための設定を行います。
プロフィール設定	ドコモの各種サービスで利用するプロフィール情報の確認や変更ができます。
ドコモサービス初期設定	端末を利用するためのサービス設定などを一括して行います。
USBデバッグ切替	ドコモショップなどの専用端末を利用するための設定を行います。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。

■ お知らせ

- ドコモのサービス／クラウドで表示されるアプリの中には無効化できるものがあります。
無効化した場合、ドコモのサービス／クラウドの一覧には表示されなくなることがあります。また、新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすると、ドコモのサービス／クラウドの一覧に項目が追加されることがあります。

アプリ

本端末にインストール済みのアプリの情報を確認したり、アプリを強制停止、データ消去、アンインストールしたりできます。

1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「アプリ」

2 アプリをタップ

- アプリ情報を確認したり、画面に表示されている項目をタップして操作を実行したりできます。
- 「メニュー」 → 「システムプロセスを表示」をタップすると、すべてのアプリを表示できます。

■ お知らせ

- お買い上げ時にインストールされているアプリは、アンインストールできない場合があります。
- 手順2で「詳細設定」をタップすると、アプリの権限やデフォルトアプリなどの設定を変更できます。

アプリを無効化する

アンインストールできない一部のアプリやサービスは、無効化できる場合があります。無効化したアプリは実行されなくなりますが、アンインストールはされません。

1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「アプリ」

2 無効化したいアプリをタップ → 「無効にする」

3 表示される注意文を読み、「アプリを無効にする」

■ お知らせ

- ホーム画面やアプリ画面のアプリを無効化すると表示されなくなります。
- アプリを有効化するには、手順2で有効化したいアプリをタップ→「有効にする」をタップします。
- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。再度有効にすることで正しく動作します。

アプリのデータやキャッシュを消去する

- ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「アプリ」
- アプリを選択 → 「ストレージ」 → 「データを消去」／「キャッシュを消去」
 - 「データを消去」を選択した場合は「OK」をタップします。

アプリの設定をリセットする

アプリの無効化や特定の操作で使用するデフォルトのアプリなどの設定をすべてリセットします。

- ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「アプリ」
- 「メニュー」 → 「アプリの設定をリセット」 → 「リセット」

システム

セキュリティなどの詳細設定、ソフトウェアアップデートについての設定、本端末の各種情報の確認を行います。

項目	説明
詳細設定	P.107
ソフトウェアアップデート	P.136
タブレット情報	P.116

詳細設定を行う

日付と時刻やセキュリティ、バックアップとリセットなどを設定します。

- ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」
- 「詳細設定」

項目	説明
日付と時刻	P.108
言語と文字入力	P.108
メモリとストレージ	P.109
セキュリティ	P.110
位置情報サービス	P.74
印刷	P.114
ユーザー補助	P.115
バックアップとリセット	P.116

日付と時刻

日付と時刻についての設定をします。

1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」

2 「詳細設定」→「日付と時刻」

項目	説明
日付と時刻の自動設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正するかどうかを設定します。
日付設定	日付を手動で設定します。 「日付と時刻の自動設定」をOFFにすると設定できるようになります。
時刻設定	時刻を手動で設定します。 「日付と時刻の自動設定」をOFFにすると設定できるようになります。
タイムゾーンを自動設定	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正するかどうかを設定します。
タイムゾーンを選択	タイムゾーンを手動で設定します。 「タイムゾーンを自動設定」をOFFにすると選択できるようになります。
24時間表示	時刻を24時間表示にするかどうかを設定します。

言語と文字入力

本端末で使用する言語と文字入力についての設定をします。

1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」

2 「詳細設定」→「言語と文字入力」

項目	説明
言語と地域	本端末の表示言語を設定します。
デフォルトのキーボード	P.30
Googleキーボード	Googleキーボードの設定をします。
iWnn IME	iWnn IMEキーボードの設定をします。
ドコモ文字編集	ドコモ文字編集についてのアプリ情報を表示します。
スペルチェッカー	スペルチェックについて設定します。 • 日本語には対応していません。
ユーザー辞書	単語をユーザー辞書に登録し、Googleキーボードでの文字入力時に、変換候補として表示させます。
テキストの読み上げ	読み上げエンジンの設定や、読み上げの速度などを設定します。
ポインタの速度	マウスやトラックパッドを使用する際の、ポインタの速度を設定します。

メモリとストレージ

本端末内のメモリ容量や、本端末に取り付けられているmicroSDカードのメモリ容量の確認などを行います。

1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」

2 「詳細設定」 → 「メモリとストレージ」

- microSDカードやUSBストレージの取り付け状況によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
メモリ	平均メモリ使用量を確認します。
内部ストレージ	本端末内の合計メモリ容量およびメモリの空き容量を表示します。 タップすると、アプリやデータの種類のメモリの使用容量を確認できます。
SDカード	microSDカードの合計メモリ容量およびメモリの空き容量を表示します。 - タップして「取り出し」をタップすると、microSDカードのマウントを解除します。再度microSDカードを認識させるには、「SDカード」→「マウント」をタップします。 - タップして「フォーマット」をタップすると、microSDカードをフォーマット（初期化）します（P.110）。

項目	説明
USBドライブ	USBストレージの合計メモリ容量およびメモリの空き容量を表示します。 - タップして「取り出し」をタップすると、USBストレージのマウントを解除します。再度USBストレージを認識させるには、「USBドライブ」→「マウント」をタップします。 - タップして「フォーマット」をタップすると、USBストレージをフォーマット（初期化）します（P.110）。
デフォルトの保存場所	ダウンロードやスクリーンショットしたデータの保存先を設定できます。

■ お知らせ

- 本端末内のメモリの空き容量が少なくなると、本端末の動作が不安定になることがあります。空き容量が少なくなった場合は、不要なデータやアプリを削除してください。
- USBストレージの取り外しは、USBストレージをマウント解除してから行ってください。また、microSDカードの取り外しは、必ず本端末の電源を切ってから行ってください。
- microSDカードを暗号化（P.113）している場合、「デフォルトの保存場所」は表示されません。
- 「デフォルトの保存場所」を「SDカード」に設定している場合は、microSDカードの「取り出し」や「フォーマット」の操作ができません。

microSDカード／USBストレージをフォーマットする

microSDカード／USBストレージをフォーマット（初期化）します。フォーマットを行うとmicroSDカード／USBストレージ内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」
- 2 「詳細設定」 → 「メモリとストレージ」
- 3 「SDカード」／「USBドライブ」 → 「フォーマット」
- 4 「消去してフォーマット」 → 「完了」
 - 消去されたデータは元に戻せません。

セキュリティ

セキュリティについての設定をします。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」
- 2 「詳細設定」 → 「セキュリティ」

- 「画面のロック」や「SDカードパスワードを設定」の設定、取り付けたmicroSDカードの状態により、表示される項目は異なります。

項目	説明
SIMカードロック設定	ドコモeSIMカードをロックします（P.113）。タブレット使用時に、PIN入力が必要になります。
SDカードパスワードを設定	P.113
SDカードパスワードを変更	microSDカードのパスワードを変更します。
SDカードパスワードを消去	microSDカードのパスワードを消去して暗号化を解除します。
SDカードのロック解除	別の機器で暗号化されたmicroSDカードを本端末に取り付けたとき、パスワードを入力してmicroSDカードのロックを解除します。 • パスワードの入力に5回続けて失敗すると、1分後に再度入力するようメッセージが表示されます。再度パスワードの入力に3回続けて失敗すると、10分後に再度入力するようメッセージが表示されます。しばらくしてから、正しいパスワードを入力し直してください。

項目	説明
SDカードパスワードを強制消去	別の機器で暗号化されたmicroSDカードを本端末に取り付けるとき、microSDカードのパスワードを忘れた場合などにパスワードを強制消去します。 強制消去を実行するとmicroSDカードがフォーマットされ、保存されているデータがすべて消去されますのでご注意ください。
パスワードを表示する	パスワードの入力時に文字を表示するかどうかを設定します。
デバイス管理機能	「遠隔初期化」、「おまかせロック」、「Android デバイスマネージャー」に対して、端末管理者を有効にします。
提供元不明のアプリ	P.114
ストレージタイプ	ストレージタイプを表示します。
信頼できる認証情報	認証情報や証明書へのアクセスをアプリに許可します。
ストレージからインストール	暗号化された証明書を内部ストレージまたはmicroSDカードからインストールします。
認証ストレージの消去	認証情報ストレージ（VPN接続時に使用する認証情報データ）のすべての証明書（コンテンツ）を消去して、パスワードをリセットします。 VPNの設定、Wi-Fi認証に関する証明書、ドコモのEAP-SIM認証に関する情報も消去されます。
信頼できるエージェント	信頼できるエージェントを管理します。
使用履歴にアクセスできるアプリ	アプリ使用履歴にアクセスできるアプリを管理します。

項目	説明
自動ロック	スリープ開始からロックされるまでの時間を設定します。
電源ボタンですぐにデバイスをロックする	電源キーでロックできるようにします。

本端末で利用する暗証番号について

本端末では、画面ロック機能で暗証番号を利用します。

■ 暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモeSIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモeSIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

画面ロック用PIN / パスワード

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただき、際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/password/network/>

PINコード

ドコモeSIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

PINコードは、第三者によるドコモeSIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモeSIMカードを本端末に取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります（PINロック状態）。この場合は、「PINロック解除コード」（PUK）を入力してロックを解除してください。

PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモeSIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

■ お知らせ

- PINコードがロックまたはドコモeSIMカードがロックされた場合は、ドコモeSIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

dアカウント

dアカウントとは、ドコモが提供するアプリやサービスを利用するためのID／パスワードです。dアカウントを使用することで、モバイルネットワークやWi-Fiなどの回線の種類や、スマートフォンやタブレット、パソコンなどの端末の種類を問わずに、多彩なサービスをより便利に利用できます。

- dアカウントについて詳しくは、ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「ドコモのサービス／クラウド」 → 「dアカウント設定」 →  → 「ヘルプ」をタップしてdアカウント設定のヘルプをご覧ください。

Googleアカウント

Googleアカウントとは、Googleの各種サービスを利用するためのユーザー名／パスワードです。本端末にGoogleアカウントを設定することで、GmailやGoogle PlayなどGoogle提供のオンラインサービスを利用できるようになります。

- Googleアカウントの設定については、「アカウントを追加する」(P.104)をご覧ください。

SIMカードロックを設定する

ドコモeSIMカードの不正使用を防ぐため、電源を入れたときにPINコードを入力しないと使用できないように設定します。

- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります（PINロック状態）。

- ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」
- 「詳細設定」 → 「セキュリティ」 → 「SIMカードロック設定」
- 「SIMカードをロック」の  → PINコードを入力 → 「OK」
「SIMカードをロック」がONになります。

■ PINコードを変更する

- SIMカードロックを有効にしている場合のみ変更できます。

- ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」
- 「詳細設定」 → 「セキュリティ」 → 「SIMカードロック設定」
- 「SIM PINの変更」 → 現在のPINコードを入力 → 「OK」
- 新しいPINコードを入力 → 「OK」 → 新しいPINコードを再入力 → 「OK」

PINロックを解除する

- PINコードがロックされた場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

- PINロック中画面でPINロック解除コードを入力
- 新しいPINコードを入力
- 新しいPINコードを再入力

microSDカードを暗号化する

microSDカードを暗号化し、不正なアクセスからデータを保護します。暗号化したmicroSDカードを他の機器に取り付けた場合は、パスワードを入力しないとmicroSDカードにアクセスできなくなります。

- 本機能を実行する前に、重要なデータはバックアップしてください。

- ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」
- 「詳細設定」 → 「セキュリティ」 → 「SDカードパスワードを設定」
- 注意内容を確認 → 「次へ」
- 「パスワード」欄にパスワードを入力 → 「パスワードの確認」欄にパスワードを再入力 → 「完了」
 -  をタップすると、入力したパスワードを表示できます。

■ お知らせ

- 一部のmicroSDカードは暗号化に対応していません。未対応のmicroSDカードを暗号化しようとすると、エラーメッセージが表示される場合があります。
- microSDカードの暗号化に対応していない機器に取り付けた場合、microSDカードは認識されません。

提供元不明のアプリのインストールを許可する

サードパーティのアプリなど、提供元が不明なアプリのインストールを許可します。

- 本端末と個人データを保護するため、Google Playなどの信頼できる発行元からのアプリのみダウンロードしてください。
- 提供元が不明なアプリをインストールする際は、セキュリティについて十分にご注意ください。

1 ホーム画面で  → 「アプリ」 タブ → 「設定」

2 「詳細設定」 → 「セキュリティ」

3 「提供元不明のアプリ」 の  をタップ

4 注意内容を確認 → 「OK」

「提供元不明のアプリ」 がONになります。

印刷

プリントサービスのアプリ（プラグイン）を利用して、本端末から印刷ができるように設定します。

1 ホーム画面で  → 「アプリ」 タブ → 「設定」

2 「詳細設定」 → 「印刷」

3 「Mopria Print Service」 → 「Mopria Print Service」
の  をタップしてONにする

- 以降は画面の指示に従って設定してください。

■ お知らせ

- プリントサービスのアプリ（プラグイン）を追加する場合は、手順3で「サービスを追加」をタップし、アプリ一覧からアプリ（プラグイン）を選択します。

ユーザー補助

ユーザーの操作を補助するアプリや機能についての設定をします。

1 ホーム画面で **田** → 「アプリ」タブ → 「設定」

2 「詳細設定」 → 「ユーザー補助」

項目	説明
おすすめ使い方ヒント	おすすめ使い方ヒントを利用するかどうかを設定します。
TalkBack	TalkBackを利用するかどうかを設定します。TalkBackをONにすると、ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助サービスを有効にします。
スイッチアクセス	スイッチアクセスを利用するかどうかを設定します。スイッチアクセスを利用すると、1つまたは複数のスイッチで本端末を操作できます。
ジェスチャー操作設定	Chromeでdグルメを閲覧するときにジェスチャー操作設定を利用するかどうかを設定します。
キャプション	動画を再生するときに画面にキャプションを表示するかどうかを設定したり、キャプションの言語や文字サイズなどを設定したりします。 • 動画によってはキャプションを表示できない場合があります。
拡大操作	画面をトリプルタップして、拡大・縮小できるようにします。
高コントラストテキスト	文字のコントラストを高くしてくっきりと表示するかどうかを設定します。

項目	説明
パスワードの音声入力	入力したパスワードを音声で読み上げるかどうかを設定します。
ユーザー補助のショートカット	ユーザー補助機能を、2つのステップで有効化できるようにします。
テキストの読み上げ	読み上げエンジンの設定や、読み上げの速度などを設定します。
押し続ける時間	タッチパネルをロングタッチする時間を設定します。
色反転	画面の色を反転させて表示するかどうかを設定します。
色補正	色補正を利用するかどうかを設定します。

バックアップとリセット

データのバックアップを取ったり、本端末をリセットしたりします。

1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」

2 「詳細設定」 → 「バックアップとリセット」

項目	説明
データのバックアップ	データや設定を、Googleサーバーにバックアップします。
バックアップアカウント	バックアップに使用するGoogleアカウントを設定します。
自動復元	アプリを再インストールするときに、バックアップした設定とデータを自動的に復元します。
ネットワーク設定のリセット	すべてのネットワーク設定をリセットします。
データの初期化	本端末に設定したGoogleアカウントや、インストールしたアプリなどのデータを消去し、お買い上げ時の状態に戻します。 • 本機能を実行する前に、重要なデータはバックアップしてください。 • 撮影した写真やダウンロードした音楽のデータなどを含む、内部ストレージ内のすべてのデータも同時に消去したい場合は、「内部ストレージの消去」にチェックを付けます。 • 実行するには、「タブレットをリセット」 → 「タブレットをリセット」をタップします。

■ お知らせ

- 初期化の操作を行うと工場出荷時の状態に戻り、各種設定も初期状態になります。ただし、SIM情報（P.91）は削除されません。

タブレット情報

本端末に関する各種情報を表示します。

1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」

2 「タブレット情報」

項目	説明
モデル番号	本端末のハードウェアやソフトウェア、およびAndroid OSについての情報などが表示されます。
ビルド番号	
Androidバージョン	
IMEI	
CPU	
RAM	
端末ストレージ	
解像度	
Androidセキュリティパッチレベル	
ベースバンドバージョン	
カーネルバージョン	
端末の状態	
法的情報	
認証情報	電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合していることを示す技術マークなどの情報が表示されます。

ストレージ構成

本体（内部ストレージ）

お買い上げ時の内部ストレージ（/storage/emulated/0）のフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータは次のとおりです。

項目	データ
Alarms	アラーム音
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなど
CloudDrive	管理ファイル
DCIM	カメラで撮影した静止画／動画など
Download	ウェブブラウザなどでダウンロードしたファイル
Movies	動画（カメラで撮影した動画を除く）
Music	音楽ファイル
Notifications	通知音
Pictures	静止画（カメラで撮影した静止画を除く）
Podcasts	Podcast（インターネット経由で配信される番組など）のファイル
Ringtones	着信音

microSDカード（外部ストレージ）

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカードや32GBまでのmicroSDHCカード、256GBまでのmicroSDXCカードに対応しています（2017年2月現在）。
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。

■ お知らせ

- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化をする必要があります（データはすべて削除されます）。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先／コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。
- microSDカードのスピードクラスは、最大クラス10に対応しています。
- microSDカードのUHSスピードクラスは、クラス1に対応しています。

microSDカードの取り付け／取り外し

microSDカードを取り付ける／取り外すときは、必ず本端末の電源を切ってから行ってください。

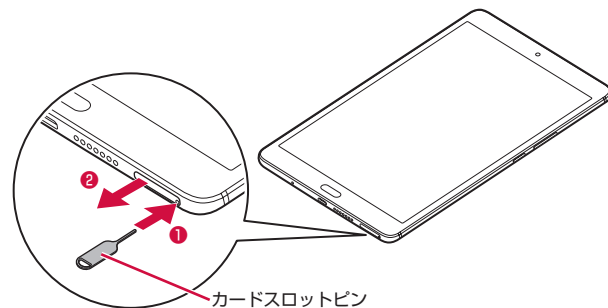
- SIMカード／microSDカードトレイの取り外しは、付属のカードスロットピン（試供品）をご使用ください。

取り付けかた

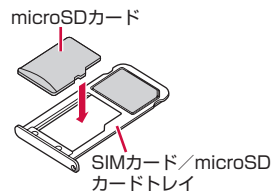
- 1** カードスロットピンをSIMカード／microSDカードトレイの取り出しホールに差し込み、矢印の方向にゆっくりと押し込む **(1)**

SIMカード／microSDカードトレイが押し出されます。

- 2** SIMカード／microSDカードトレイを引き出す **(2)**

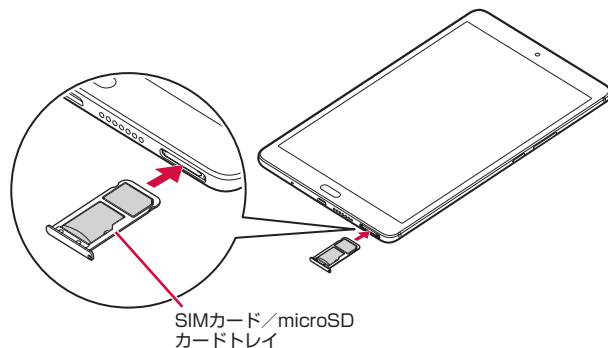


- 3** microSDカードの金属端子を下にしてSIMカード／microSDカードトレイに取り付ける



- 4** SIMカード／microSDカードトレイを本端末に差し込む

- 矢印の方向に水平に差し込んでください。
- カチッと音がするまでしっかりと押し込み、浮きがないことを確認してください。

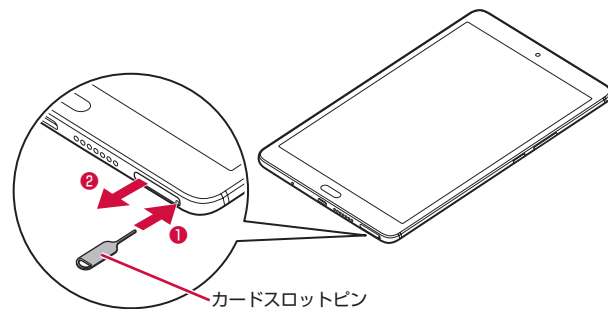


取り外しかた

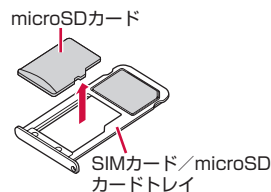
- 1 カードスロットピンをSIMカード／microSDカードトレイの取り出しホールに差し込み、矢印の方向にゆっくりと押し込む (1)

SIMカード／microSDカードトレイが押し出されます。

- 2 SIMカード／microSDカードトレイを引き出す (2)

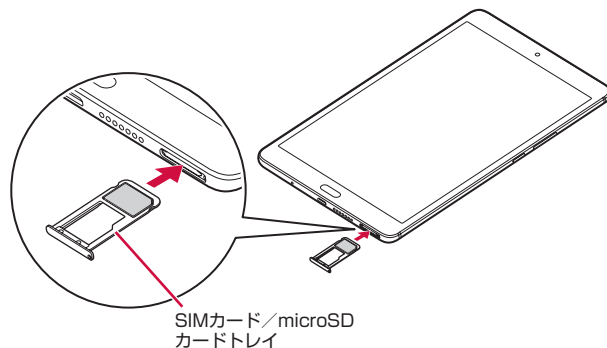


- 3 microSDカードをSIMカード／microSDカードトレイから取り外す



- 4 SIMカード／microSDカードトレイを本端末に差し込む

- 矢印の方向に水平に差し込んでください。
- カチッと音がするまでしっかりと押し込み、浮きがないことを確認してください。



■ お知らせ

- カードスロットピンを紛失した場合には、ペーパークリップでも代用できます。



ペーパークリップの例

ファイル

本端末の内部ストレージやmicroSDカード内のファイルやフォルダを表示／再生したり、管理したりできます。

ファイルを表示／再生する

- 1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「ファイル」
 - 2 「カテゴリ」／「本体」タブをタップ
 - 3 「カテゴリ」タブの場合はカテゴリをタップ／「本体」タブの場合は「内部ストレージ」または「SDカード」をタップし、フォルダをタップ→ファイルをタップ
- ファイルを表示／再生するアプリが起動し、ファイルを確認できます。
- ファイルによっては、本端末で再生できない場合があります。

フォルダを作成する

- 1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「ファイル」
 - 2 「本体」タブ→「内部ストレージ」／「SDカード」
 - 3 「新規フォルダ」→フォルダ名を入力→「保存」
- フォルダ内にフォルダを作成する場合は、フォルダをタップしてから操作します。

ファイルやフォルダの名前を変更する

- 1 ファイル／フォルダの一覧画面で名前を変更するファイルやフォルダをロングタッチ
- 2 「メニュー」→「名前の変更」
- 3 ファイル／フォルダ名を変更→「OK」

ファイルやフォルダをコピー／移動する

- 1 ファイル／フォルダの一覧画面でコピー／移動するファイルやフォルダをロングタッチ
 - 複数のファイルやフォルダをコピー／移動する場合は、操作するファイルやフォルダにチェックを付けます。
- 2 「コピー」／「移動」
- 3 コピー／移動先のフォルダを表示→「貼付け」／「移動」

ファイルやフォルダを削除する

- 1 ファイル／フォルダの一覧画面で削除するファイルやフォルダをロングタッチ
 - 複数のファイルやフォルダを削除する場合は、操作するファイルやフォルダにチェックを付けます。
- 2 「削除」→「削除」

ファイル画面のメニュー

「メニュー」をタップすると、メニューが表示されます。

- カテゴリやフォルダによって、表示されるメニューは異なります。

■「カテゴリ」／「本体」タブのトップ画面、「本体」タブ内の各フォルダ

項目	説明
設定	「ファイル」アプリの更新情報の確認や、表示設定などを行います。

■「カテゴリ」タブ内の各カテゴリ

項目	説明
小さい画像をフィルタ／サイズでフィルタしない	サイズが小さい画像を非表示にしたり、再表示したりします。
設定	「ファイル」アプリの更新情報の確認や、表示設定を行います。

■ 各ファイル／フォルダ選択時

ファイル／フォルダの一覧画面でファイルやフォルダなどをロングタッチすると、画面下部に次のメニューが表示されます。

- ファイルやフォルダなどの種類によって、表示されるメニューは異なります。

項目	説明
コピー	ファイルやフォルダをコピーします。
移動	ファイルやフォルダを移動します。
削除	ファイルやフォルダを削除します。
詳細	選択したファイルやフォルダなどの詳細情報を確認します。

項目		説明
全て選択／選択を全て解除		ファイルやフォルダをすべて選択／解除します。
メニュー	共有	Bluetooth通信やメールなどで共有します。
	名前の変更	ファイルやフォルダの名前を変更します。
	圧縮／フォルダに解凍	ファイルやフォルダを圧縮／圧縮ファイルを解凍します。
	詳細	ファイルやフォルダなどの詳細情報を確認します。
	Safeボックスに移動	P.123
	設定	ファイルを電話帳の写真や壁紙、通知音に登録します。
	お気に入りに追加／お気に入りに削除	お気に入りに追加／お気に入りに削除します。 • お気に入りに追加したファイルやフォルダを表示するには、「カテゴリ」タブ画面の「ダウンロードとお気に入りに」をタップします。
デスクトップショートカットを作成		ホーム画面にショートカットを作成します。

Safeボックスを作成する

Safeボックスを利用して、パスワードを入力しないと開けないフォルダ（ボックス）にファイルを保存することができます。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「ファイル」
- 2 「Safeボックス」
 - はじめて操作する場合は、「有効化」をタップしてSafeボックスを有効化します。
- 3 「SDカード（推奨）」／「内部ストレージ」
- 4 「パスワード設定」欄にパスワードを入力 → 「パスワードを確認」欄にパスワードを再入力 → 「完了」
- 5 表示されている質問をタップ → 質問を選択 → 「回答」欄に回答を入力 → 「完了」

Safeボックスを追加する

- 1 Safeボックスの作成後、パスワードの入力画面で「Safeボックスの切替」 → 「Safeボックスを作成」 → 以降、画面の指示に従って操作

■ お知らせ

- 複数のSafeボックスを作成している場合、パスワードの入力画面で「Safeボックスの切替」をタップすると、利用するボックスを選択できます。

ファイルをSafeボックスに移動する

1 ファイルの一覧画面で、Safeボックスに移動するファイルをロングタッチ→「メニュー」→「Safeボックスに移動」

- Safeボックスを作成していない場合は、「有効化」をタップしてSafeボックスを作成します。

2 パスワードを入力→「完了」→「OK」

■ お知らせ

- Safeボックス画面で「追加」→ファイルの種類を選択→ファイルを選択→「追加」をタップしても、ファイルをSafeボックスに移動できます。

Safeボックス画面のメニュー

Safeボックス画面で「設定」をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目		説明
パスワード設定	パスワードを変更	パスワードを変更します。 変更する前のパスワードを入力する必要があります。
	セキュリティ質問を変更	セキュリティ質問と回答を変更します。 - パスワードを入力する必要があります。 - 表示されている質問をタップして、質問を選択します。
詳細設定	Safeボックスの切替	他のSafeボックスに切り替えます。 パスワードを入力する必要があります。
	Safeボックスの場所	Safeボックスの場所を確認します。
Safeボックスを削除する		Safeボックスを削除します。 - パスワードを入力する必要があります。 - 格納されているファイルを別の場所に移動させる場合は、パスワード入力後の確認画面で「ファイルを削除」→「はい」をタップして移動先を指定します。

Bluetooth通信

本端末とBluetooth機器との間で、データの送受信ができます。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- 対応バージョンやプロファイルなどについては、「主な仕様」(P.139)をご参照ください。
- 本端末と接続するBluetooth機器の操作については、機器の取扱説明書などをご参照ください。
- 市販されているすべてのBluetooth機器との接続や動作を保証するものではありません。

Bluetooth機能使用時のご注意

- 本端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
- 他の機器（電気製品、AV機器、OA機器など）からできるだけ離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいためご注意ください。正常に接続できない場合やテレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりする場合があります。
- 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
- Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

無線LAN（IEEE802.11b/g/n）とBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。その場合は以下の対策を行ってください。

- 本端末と無線LAN対応機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、無線LAN対応機器の電源を切ってください。

Bluetooth機能をONにする

1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」

2 「Bluetooth」

Bluetooth設定画面が表示されます。

3 「Bluetooth」のをタップしてONにする

ステータスバーにが表示されます。

本端末を検出可能にする

1 Bluetooth機能をONにする

ステータスバーにが表示されます。

2 「表示」のをタップしてONにする

「表示」の下に「周辺のすべてのBluetoothデバイスに表示」と表示され、カウントダウンが開始されます。2分を経過すると、検出されなくなります。

- 「メニュー」→「検出タイムアウト設定」をタップすると、本端末を検出可能にする時間を設定できます。

端末の名前を変更する

他のBluetooth機器で、本端末を検出したときに表示される名前を変更します。

1 Bluetooth機能をONにする

2 「端末名」→端末の名前を入力→「OK」

ペアリング／接続

本端末と他のBluetooth機器でデータのやり取りが行えるように、他の機器とペアリング／接続を行います。

他のBluetooth機器とペアリング／接続する

1 Bluetooth機能をONにする

「使用可能なデバイス」欄に、検出されたBluetooth機器が一覧表示されます。

- Bluetooth機器が検出されない場合は、「検索」をタップすると再度検索されます。

2 ペアリング／接続を行う機器をタップ

「ペアリングされたデバイス」欄にペアリング／接続したBluetooth機器の名前が表示されます。

- Bluetoothペア設定要求画面が表示された場合は、表示されているキーを確認して「ペア設定する」をタップしてください。
- 必要に応じてBluetoothパスキー（認証用コード）を入力します。データのやり取りを行う機器同士が、同じBluetoothパスキーを入力する必要があります。Bluetoothパスキーは、機器の取扱説明書などをご確認ください。

ペアリング／接続を解除する

1 Bluetooth設定画面で解除操作を行う

■ Bluetooth機器とのペアリングを解除する場合

- ① 「ペアリングされたデバイス」欄の機器名称の ⓘ
- ② 「ペアリング解除」

■ Bluetooth機器との接続を解除する場合

- ① 「ペアリングされたデバイス」欄の機器名称をタップ
- ② 「OK」

■ お知らせ

- 相手側の機器によっては、 ⓘ をタップして名前の変更や、プロファイルの設定変更などができます。

データの送受信

- あらかじめ本端末のBluetooth機能をONにし、データを送信する相手側の機器とペアリングしておいてください。

データを受信する

1 相手側の機器からデータを送信

ステータスバーに ⓘ が表示され、ファイル転送画面が表示されます。

2 「受信」

データの受信が開始されます。

受信が開始されるとステータスバーに ⓘ が表示されます。

■ お知らせ

- 受信したファイルは、ステータスバーを下にドラッグ→「Bluetooth共有：受信したファイル」→ファイルをタップするか、Bluetooth設定画面で「受信したファイル」→ファイルをタップすると確認できます。
-

データを送信する

電話帳、静止画、動画などのデータを、他のBluetooth機器に送信できます。

1 各アプリの共有メニューで「Bluetooth」

2 データを送信する相手側の機器をタップ

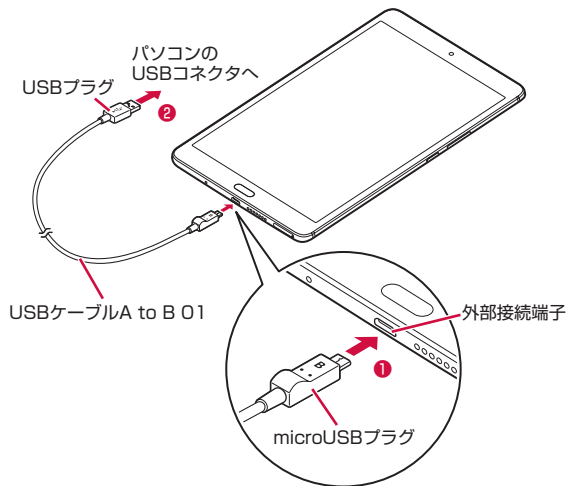
データの送信が開始されます。

送信が開始されるとステータスバーにが表示されます。

パソコンと接続する

USBケーブルA to B 01（別売品）を使用して、本端末とパソコンを接続します。

- プラグの向き（表裏）をよく確かめ、水平に差し込んでください。



- 1 USBケーブルA to B 01のmicroUSBプラグを、本端末の外部接続端子に水平に差し込む（①）

2 USBケーブルA to B 01のUSBプラグを、パソコンのUSBコネクタに水平に差し込む（②）

- 本端末と接続可能なパソコンの動作環境は次のとおりです。

項目	説明
パソコン本体	USBポートを搭載したPC-AT互換機
OS	Windows 10（32ビットおよび64ビット）、 Windows 8.1（32ビットおよび64ビット）、 Windows 7（32ビットおよび64ビット）
メモリ容量*	64Mバイト以上（128Mバイト以上を推奨）
ハードディスクの 空き容量*	64Mバイト以上

※ 動作に必要なメモリ容量、ハードディスクの空き容量です。

本端末をUSBストレージとして使用する

本端末とパソコンをUSBケーブルA to B 01（別売品）で接続して、内部ストレージまたは本端末に取り付けられているmicroSDカードとデータをやり取りできます。

- 接続するパソコンの仕様や使用目的に応じて、接続モードを設定できます。

1 本端末とパソコンをUSBケーブルA to B 01で接続する

ドライバが自動的にインストールされ、パソコンと接続されます。

- ドライバが自動的にインストールされない場合は、本端末のステータスバーを下にドラッグ→USB接続を示す通知を下にスライド（スワイプ）→「写真」／「ファイル」をタップし、パソコンから「CDドライブ（E:）d-01J」（ご利用のパソコンの設定により表示が異なる場合があります）→「Windows USB Driver」フォルダをクリックしてDriverSetup.exeを実行してください。

2 本端末のステータスバーを下にドラッグ→USB接続を示す通知を下にスライド（スワイプ）→接続モードを「写真」／「ファイル」から選択

- 選択している接続モード（グレーで表示）を再度タップすると非選択状態となり、パソコンからは本端末が認識されず、充電のみが行われます。

3 パソコンを操作して、本端末の内部ストレージまたは本端末に取り付けられているmicroSDカードとデータをやり取りする

本端末をパソコンから取り外すには

1 パソコン側で本端末の安全な取り外し操作を行う

2 USBケーブルA to B 01を取り外す

■ お知らせ

- 本端末とパソコンとの間でデータのやり取りをしているときにUSBケーブルA to B 01を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

トラブルシューティング (FAQ)

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったときに、お客様ご自身で診断することができます。
詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/>
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください (P.136)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

症状	チェックする箇所
本端末の電源が入らない	電池切れになっていませんか。本端末を充電してください (P.23)。
画面が動かない、電源が切れない	画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、電源キーを10秒以上押すと、強制的に再起動することができます。 ※ 強制的に電源を切る操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

症状	チェックする箇所
充電ができない (通知LEDが点灯しない、ステータスバーに充電中を示すアイコンが表示されない)	- アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリソケットに正しく差し込まれていますか (P.23)。 - アダプタと本端末がしっかりと接続されていますか (P.23)。 - 充電しながら通信やその他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇して充電が完了できない場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■ 端末操作

症状	チェックする箇所
操作中・充電中に熱くなる	操作中や充電中、また充電しながらアプリなどを長時間使用した場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	- 圏外の状態でも長時間放置されるようなことはありませんか。 - 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 - 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 - 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回の充電で使用できる時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
タッチパネルをタップしたり、ボタンを押しても動作しない	- 電源が切れていませんか (P.24)。 - スリープモードになっていませんか。電源キーを押してスリープモードを解除してください (P.24)。 - 本端末を強制的に再起動してください。電源キーを10秒以上押すと、強制的に再起動することができます。 ※ 強制的に電源を切る操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。
タッチパネルをタップしたときの画面の反応が遅い	本端末の内部ストレージに大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやり取りしているときなどに発生する場合があります。
ドコモeSIMカードが認識されない	ドコモeSIMカードを正しい向きで挿入していますか (P.19)。
時計の時刻がずれる	長期間、電源を入れた状態にしていると、時計の時刻がずれる場合があります。「日付と時刻の自動設定」(P.108)が有効になっていることを確認して、電波状態のよい場所で電源を入れ直してください。
端末動作が不安定	- ご購入後に端末へインストールしたアプリが原因の可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 - セーフモードの起動方法 1. 本端末の電源を切る 2. 電源を切った状態で電源キーを2秒以上押し、「NTT docomo」ロゴのみの表示となったら、本端末が起動するまで音量下キーを押し続ける ※ セーフモードが起動するとホーム画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を一度OFFにして、起動し直してください。 - 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 - ウィジェットやアプリが表示されなくなる場合があります。 - セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了してからご利用ください。

症状	チェックする箇所
アプリが正しく動作しない(起動できない、エラーが頻繁に起こるなど)	無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください (P.106)。

■ 画面

症状	チェックする箇所
ディスプレイが暗い	- 画面の明るさを変更していませんか (P.97)。 - 指やシールなどで照度センサーをふさいでいませんか。

■ メール

症状	チェックする箇所
メールを自動で受信しない	メールのアカウント設定で、自動的に同期しない設定に設定していませんか。

■ カメラ

症状	チェックする箇所
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。 - 人物を撮影するときは、顔検出機能(スマイルキャプチャ)を設定してください (P.67)。 - 手ぶれ補正を有効にして撮影してください (P.67)。

■ データ管理

症状	チェックする箇所
データ転送が行われない	USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	microSDカードを取り付け直してください (P.118)。

■ Bluetooth機能

症状	チェックする箇所
Bluetooth機器と接続ができない／検索しても見つからない	Bluetooth通信対応機器（市販品）側をペアリング待ち受け状態にしてから、本端末側からペアリングを行う必要があります。ペアリング済みの機器を削除して再度ペアリングを行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）と本端末の両方でペアリングした機器を削除した後、ペアリングを行ってください（P.125）。

■ 地図・GPS機能

症状	チェックする箇所
オートGPSサービス情報が設定できない	- 電池残量が少なくなり、オートGPSが停止していませんか。 「低電力時動作設定」により、オートGPSが停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、「低電力時動作設定」を「停止しない」に設定するか、または、充電をすることで設定できるようになります（P.106）。 「オートGPS動作設定」が無効になっていませんか（P.106）。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法
しばらくお待ちください(データサービス)	回線へのアクセス集中などの原因により、データ通信サービスを利用しにくい場合に表示されます。
通信サービスなし	- サービスエリア外か、電波の届かない場所にいるため利用できません。電波の届く場所まで移動してください。 - ドコモeSIMカードが正しく機能していません。ドコモeSIMカードを取り付け直すことで改善する可能性があります。改善しない場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。
モバイルネットワークが利用できません	ドコモeSIMカードを正しく取り付けて（P.119）、電波の届く場所まで移動してください。
アクセス制限が変更されました	データサービスが受けられない場合に表示されます。
SIM PINを入力してください。	PINコード（P.112）を正しく入力してください。
PUKコードを入力してください	PINロック解除コード（PUK）（P.112）を正しく入力してください。
PINロック解除コードがロックされています	PINロック解除コード（PUK）がロックされています。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
空き容量低下／空き容量が不足しています	内部ストレージまたはmicroSDカードの空き容量がありません。不要なデータを削除（P.121）して容量を確保してください。

あんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定やアプリの使い方、パソコンなどの周辺機器との接続に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモeSIMカード未挿入時、機内モードなどではご利用できません。
- あんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- あんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 あんしん遠隔サポートセンターへ電話する

ドコモの携帯電話からの場合：(局番なしの) 15710 (無料)
一般電話などからの場合：☎ 0120-783-360
受付時間：午前9：00～午後8：00 (年中無休)

2 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「遠隔サポート」

3 「遠隔サポートの接続画面に進む」→「同意する」

4 ドコモからご案内する接続番号を入力する

5 接続後、遠隔サポートを開始する

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 自立スタンド、カードスロットピンは無料修理保証の対象外となります。
- 自立スタンド、カードスロットピンは試供品となります。
- 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はお自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
- ※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
- ※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」(P.129)をご覧ください。それでも調子がよくないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただけます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（外部接続端子・ディスプレイなどの破損）による故障・損傷、ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
 - ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合
- ※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。

修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/shop/compatible/index.html>

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
 - ・ 火災・けが・故障の原因となります。
 - ・ 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ディスプレイ部やボタン部にシールなどを貼る。
 - 接着剤などにより本端末に装飾を施す。
 - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど。
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、ドコモでは補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデートについて

ソフトウェアアップデートとは、ネットワークに接続してアップデートが必要かを確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードし、インストールする機能です。

アップデートが必要な場合には、ステータスバーの  (ソフトウェアアップデート) やドコモのホームページにてご案内いたします。

ソフトウェアアップデートには、以下の内容などが含まれます。本端末を安全でより快適にご利用いただくため、必ず最新バージョンへのアップデートをお願いいたします。

- ・機能の向上や追加
- ・操作性の向上
- ・品質改善
- ・セキュリティパッチの最新化

■ お知らせ

- ・アップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができませんが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、バックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

注意事項

- ・アップデートを行うと、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ・アップデートの際、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的に当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。

- Xi/FOMAでのパケット通信をご利用の場合、ダウンロードに通信料金は発生しません。
- パケット通信を利用したアップデートにはドコモ契約のドコモeSIMカードが必要です。なお、アップデートの内容によってはパケット通信を利用した場合、spモードの契約が必要になる場合があります。
- インストール中は、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。
- インストール中は、すべてのキー操作が無効となり、途中で中止することはできません。
- アップデートが完了すると再起動がかかります。
- アップデートを行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- PINコードが設定されているときは、書換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- アップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。
- アップデート中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- アップデートには時間がかかることがあります。
- 以下の場合はアップデートができません。
 - 圏外が表示されているとき
 - 親機としてテザリングをしているとき
 - 日付・時刻を正しく設定していないとき
 - 必要な電池残量がないとき
 - 内部ストレージに必要な空き容量がないとき
 - 基本ソフトウェアを不正に変更しているとき
- インストールを行う前に、すべてのアプリを終了してください。
- 本端末の電池残量がフル充電の状態で行ってください。
- アップデート中は電源を切らないでください。
- ダウンロード中は電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。
- アップデートが不要な場合は、「アップデートの必要はありません。このままご利用ください。」と表示されます。
- アップデート可能期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

ソフトウェアをアップデートする

アップデートはお客様自身でインストールを実行していただく必要があります。

ステータスバーを下にドラッグ→通知をタップ→「インストール」をタップしてください。

自動ダウンロード設定を変更する

- 1** ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」→「ソフトウェアアップデート」→「自動ダウンロード」をONまたはOFFにする

- 「自動ダウンロード」をOFFにした場合、「ステータスバーにアイコンが表示されない場合」(P.137)の操作を行ってください。

ステータスバーにアイコンが表示されない場合

以下の操作でアップデートを実行できます。

- 1** ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」→「ソフトウェアアップデート」→「今すぐ更新」

ダウンロードが開始されます。

- 2** ダウンロードが完了し、インストール開始のメッセージが表示されたら「OK」／「インストール」

インストールが開始されます。

- アップデートの内容によっては「今すぐ更新」をタップ後、アップデートの実施について確認画面が表示されます。

■ アップデートの実施についての確認画面が表示される場合

確認画面が表示されたら、次の手順に従ってください。

1 実施方法を選択する

「今すぐ実施 (Wi-Fiのみ)」

Wi-Fi接続により、即時に更新ファイルをダウンロードします。

「予約して実施 (Wi-Fi/Xi)」

Wi-Fi接続またはXi/FOMAにより、自動的に予約された時刻に更新ファイルをダウンロードします。

- Xi/FOMAによるダウンロードができない場合、「予約して実施 (Wi-Fiのみ)」と表示されます。
- spモードを設定されていない場合は「予約して実施 (Wi-Fi/Xi)」をタップしてもアップデートを実行できません。Wi-Fi接続でお試してください。

2 「ダウンロードしてインストール」／「ダウンロードのみ」

「ダウンロードしてインストール」

ダウンロード完了後、自動でインストールが実行されます。「OK」をタップしない場合でも、約10秒後にインストールが実行されます。

「ダウンロードのみ」

更新ファイルのダウンロードが完了しても、自動でインストールは実行されません。インストールする場合、お客様がインストールを実行する必要があります。

■ お知らせ

- 本端末のソフトウェアが最新の場合には、「アップデートの必要はありません。このままご利用ください。」と表示されます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードしたデータは最長14日間保持されます。ダウンロードを再開する場合は、通知パネルの  (ダウンロードが中断されました) から再開できます。
- 「予約して実施」を選択した場合、ダウンロードの時刻は自動的に設定されます。開始時刻の変更はできません。自動で設定された時刻にダウンロードされたくない場合は「ソフトウェアアップデート」→「戻る」→「今すぐ実施 (Wi-Fiのみ)」を選択して更新ファイルをダウンロードしてください。

アプリのアップデート

アップデート後、アプリのアップデートがあるかどうかをご確認ください。アプリのアップデートを行わないと動作が不安定になることや、機能が正常に動作しなくなることがあります。必ず最新バージョンへのアップデートをお願いいたします。

通知アイコンからアップデートする

アップデート完了後、再起動し、通知アイコン  (アップデートが完了しました) が表示されます。

- 1 ステータスバーを下にドラッグ→「アップデートが完了しました」→「次へ」→「OK」

アップデート一覧でアプリのアップデートを行ってください。

Playストアからアップデートする

- 1 ホーム画面で「Playストア」→画面の左端を右にフリック→「マイアプリ&ゲーム」

各アプリのアップデートを行ってください。

■ お知らせ

- 各アプリのOSバージョン対応状況については、アプリの提供元にご確認ください。

主な仕様

■ 本体

品名	dtab Compact d-01J	
サイズ	高さ約216mm×幅約124mm×厚さ約7.3mm（最厚部約7.6mm）	
質量	約325g	
メモリ	ROM	16GB ^{*1}
	RAM	3GB
連続待受時間	LTE	静止時（自動）：約700時間
	3G	静止時（自動）：約800時間
充電時間	ACアダプタ 05：約230分 DCアダプタ 04：約240分	
ディスプレイ	方式	TFT 16,777,216色
	サイズ	約8.4inch
	ピクセル数	WQXGA 横1600×縦2560ピクセル
撮影素子	種類	アウトカメラ：裏面照射型CMOS インカメラ：裏面照射型CMOS
	サイズ	アウトカメラ：1／4.0inch インカメラ：1／4.0inch

カメラ	カメラ有効画素数	アウトカメラ：約800万画素 インカメラ：約800万画素
	記録画素数（最大時）	アウトカメラ：約800万画素 インカメラ：約800万画素
	デジタルズーム	アウトカメラ：最大約4.0倍（静止画）／最大約4.0倍（動画） インカメラ：最大約4.0倍（静止画）／最大約4.0倍（動画）
イヤホンマイクジャック	端子径	φ3.5mmイヤホンジャック
	極数	4極
言語	表示言語	日本語／英語
	入力言語（文字入力）	日本語／英語
	入力言語（音声入力）	Google音声入力による
無線LAN		IEEE802.11a/b/g/n (2.4GHz/5GHz)／ac準拠
Bluetooth	対応バージョン	Bluetooth標準規格Ver.4.1に準拠 ^{*2}
	出力	Bluetooth標準規格 Power Class 1
	対応プロファイル ^{*3} （バージョン）	HSP (Headset Profile) (1.2) OPP (Object Push Profile) (1.1) SPP (Serial Port Profile) (1.2) HID (Human Interface Device Profile) (1.0) A2DP ^{*4} (Advanced Audio Distribution Profile) (1.2) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) (1.3) PBAP (Phone Book Access Profile) (1.1) MAP (Message Access Profile) (1.1)

- ※1 Android OSやお買い上げ時に搭載されているアプリの保存にも使用されているため、実際に使用できる容量とは異なります。使用可能な空き容量については、「メモリとストレージ」(P.109)をご参照ください。
- ※2 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやり取りができない場合があります。
- ※3 Bluetooth通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
- ※4 音声コーデックSBC (SubBand Codec) に対応しています。

- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
なお、内蔵電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、待受時間が約半分程度になる場合があります。
- インターネット接続をしなくてもアプリを起動すると待受時間は短くなります。
- 充電時間とは、端末の電源を切って、内蔵電池が空の状態から充電したときの目安です。端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

■ 内蔵電池

使用電池	リチウムイオンポリマー電池
公称電圧	3.82V
公称容量	4980mAh

■ ファイル形式

本端末で撮影した静止画と動画は、以下のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	jpg
動画	MP4	mp4

■ 動画の撮影時間（目安）

動画解像度	内部ストレージに保存できる撮影時間
FHD 1080p (1920×1080、ステレオ)	1件あたり最大約33分

データ通信端末の比吸収率（SAR）などについて

データ通信端末の比吸収率（SAR）について

この機種d-01Jは、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^{※1}ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、本データ通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。取扱説明書に記述する通常使用の場合、このデータ通信端末のSARの最大値は0.847W/kg^{※2}です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、データ通信端末の出力は小さくなります。

通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

ドコモのホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

【ファーウェイジャパン】のホームページ

<http://consumer.huawei.com/jp/tablets/support/information/d-01j-jp.htm>

本端末の「サポート」ページをご確認ください。URLは予告なく変更される場合があります。

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Terminals

This model d-01J device complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.

This device was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves ^{*1} and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.

The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile terminals is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this device when tested for intended use described in the instruction manual is 0.847 W/kg ^{*2}. There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit.

The actual SAR of this device while operating can be well below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network. Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device.

During communication, please keep the device farther than 1.5 cm away from your body without including any metals. This device satisfies the technical regulations and international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_english.htm

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:

<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses Website:

<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html> (in Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:

<https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/>

[HUAWEI TECHNOLOGIES, JAPAN] Website:

<http://consumer.huawei.com/jp/tablets/support/information/d-01j-jp.htm> (in Japanese only)

^{*1} Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).

^{*2} Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.

GPL/LGPL適用ソフトウェアについて

本端末には、GNU General Public License (GPL)、またはGNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

ライセンスの詳細を確認するには、ホーム画面で[田]→「アプリ」タブ→「設定」→「タブレット情報」→「法的情報」→「オープンソースライセンス」で表示される内容、および本端末とパソコンを接続し、ドライバをインストールして (P.128)、以下の手順でフォルダ内のファイルをご参照ください。

- 1 パソコンで「PC」／「コンピューター」／「コンピュータ」を開く
 - ご利用のパソコンのOSにより、表示が異なります。
- 2 「CDドライブ (E:) d-01J」をクリック
 - ドライブ名 (E:) の部分は、ご利用のパソコンの設定により、表示が異なる場合があります。
- 3 「Document」→「Open Source Software Notice.pdf」の順にダブルクリック

GPLソースコードのダウンロード

本端末に含まれるGPLソースコードのダウンロードをご希望の場合は、下記のホームページから「d-01J」を検索してください。

<http://consumer.huawei.com/en/opensource/detail/index.htm>

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権

お客様が本端末を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本端末を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでご注意ください。

商標

- 「dメニュー」、「dマーケット」、「FOMA」、「i アプリ」、「あんしんスキャン」、「あんしん遠隔サポート」、「i コンシェル」、「i モード」、「しゃべってコンシェル」、「eトリセツ」、「イマドコサーチ」、「イマドコかんたんサーチ」、「フォトコレクション」、「てがき翻訳」、「マイマガジン」、「LIVE UX」、「mopera U」、「ビジネスmopera」、「spモード」、「Xi」、「Xiノックロッシィ」、「エリアメール」、「トルカ」、「マチキャラ」および「dメニュー」ロゴ、「dマーケット」ロゴ、「あんしんスキャン」ロゴ、「あんしん遠隔サポート」ロゴ、「ドコモメール」ロゴ、「ドコモ電話帳」ロゴ、「dブック マイ本棚」ロゴ、「データ保管BOX」ロゴ、「スケジュール」ロゴ、「メモ」ロゴ、「i コンシェル」ロゴ、「トルカ」ロゴ、「エリアメール」ロゴ、「しゃべってコンシェル」ロゴ、「eトリセツ」ロゴ、「フォトコレクション」ロゴは(株)NTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi®はWi-Fi Allianceの登録商標です。



- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「Googleマップ」、「ハングアウト」、「ハングアウト」ロゴ、「Google Calendar」、「YouTube」、「YouTube」ロゴは、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2017 All Rights Reserved.
- Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

- DISCRETIX™、DISCRETIX™ LOGOは Discretix™の登録商標です。



- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

Windowsの表記について

本書の本文中においては、各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。

- Windows 10は、Microsoft® Windows® 10 (Home, Pro, Enterprise, Education) の略称です。
- Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1 Operating System (Pro, Enterprise) の略称です。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 Starter、Microsoft® Windows® 7 Home Premium、Microsoft® Windows® 7 Professional、Microsoft® Windows® 7 Ultimateの略称です。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

- 1** 他社のSIMカードを取り付ける
- 2** 電源を入れる
- 3** SIMロック解除コードを入力する
- 4** 「ロック解除」

■ お知らせ

- SIMロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、SIMロックを解除できなくなります。

索引

あ

アイコン	35
アカウント	104
削除	105
追加	104
同期	104
アクセスポイント	
spモード	93
Wi-Fi	88
Wi-Fiテザリング	94
アプリ	106
アプリ一覧	43
アプリ画面	43
アプリの権限	29
アラーム	76
暗証番号	111
位置情報サービス	74
印刷	114
ウェブブラウザ	58
エリアメール	57
遠隔サポート	134
オートGPS	106
音	98
音楽	
再生	72
音声レコーダー	83
音量	99

か

壁紙	41
カメラ	64
撮影画面	65
静止画を撮影する	66
動画を撮影する	66

画面の明るさ	97
画面の自動回転	28
画面ロックとパスワード	102
画面ロックの解除	25, 103
カレンダー	79
機内モード	87
ギャラリー	68
緊急通報	57
クイック設定パネル	38
言語と文字入力	108
故障かな？と思ったら	129

さ

ジェスチャー	27
指紋ID	101
充電	22
仕様	139
初期化	116
初期設定	34
自立スタンド	25
ステータスアイコン	36
ステータスバー	35
ストップウォッチ	78
スマートアシスト	103
スライド（スワイプ）	26
スリープモード	24
静止画	
再生	70
撮影	66
セキュリティ	110
設定メニュー	87
ソフトウェアアップデート	136

た

タイマー	78
タッチ操作音	98
タッチパネル	26

タップ	26
ダブルタップ	26
タブレット情報	116
タブレットをリセット	116
通知LED	34
通知アイコン	35
通知音	98
通知設定	98
通知パネル	37
テザリング	
USBテザリング	95
Wi-Fiテザリング	94
電源ON／OFFタイマー	103
電源を入れる／切る	24
電卓	84
電池	100
電話帳	50
動画	
再生	72
撮影	66
時計	76
ドコモeSIMカード	19
ドコモクラウド	105
ドコモサービス	105
ドコモデータコピー	85
ドコモメール	54
ドラッグ	27
トルカ	84

な

内部ストレージ	109, 117
ナビ	74
ナビゲーション	99
ネットワーク暗証番号	112

は

バイブレーション	98
----------	----

パソコンと接続.....	127
バックアップ.....	85, 116
日付と時刻.....	108
ピンチ.....	26
ファイル.....	120
ブックマーク.....	60
フリック.....	26
ホーム画面.....	39, 40

ま

マイマガジン.....	49
マナーモード.....	99
サイレントモード (マナーモード).....	99
バイブレーション (マナーモード).....	99
無線とネットワーク	
設定.....	87
メッセージ (SMS).....	54
確認.....	55
作成/送信.....	54
メディアプレイヤー.....	72
メモ.....	82
メモリとストレージ.....	109
目次.....	2
文字入力.....	29
文字の編集.....	32
モバイルネットワーク.....	93

や

ユーザー辞書.....	33
ユーザー補助.....	115

ら

リセット.....	116
ロングタッチ.....	27

英数字

ACアダプタ	
充電.....	23
Bluetooth	
データの送受信.....	125
ペアリング/接続.....	125
Bluetooth通信.....	124
Chrome.....	58
docomo LIVE UX.....	39
dアカウント.....	112
dマーケット.....	62
dメニュー.....	62
Gmail.....	56
作成/送信.....	56
表示.....	56
Google.....	105
Googleアカウント.....	104, 113
Googleマップ.....	75
GPS.....	74
iWnn IME.....	30
microSDカード.....	109, 117
暗号化.....	113
取り付け/取り外し.....	118
フォーマット.....	110
PINコード.....	112
PINロック解除コード (PUK).....	112
PINロックの解除.....	113
Playストア.....	63
SAR.....	141
SIM情報設定.....	91
USBストレージ.....	109
フォーマット.....	110
VPN.....	96
Wi-Fi.....	88
Wi-Fi Direct.....	89
YouTube.....	73

オンラインでの各種手続き・ご契約内容の確認など

本端末から dメニュー→「My docomo (お客様サポート)」→「ドコモオンライン手続き」
パソコンから My docomo (<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>) →「ドコモオンライン手続き」
内の項目を選択

- システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
- 「ドコモオンライン手続き」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「ID／パスワード」が必要です。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

■ 運転中の場合

運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

プライバシーに配慮しましょう

- カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

【マナーモード】(P.99)

通知音、操作音など本端末から鳴る音を消します。

※ただし、シャッター音は消せません。



ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収していますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

総合お問い合わせ先
(ドコモ インフォメーションセンター)

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00(年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。

ドコモホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

故障お問い合わせ・修理お申込み先

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

海外からのお問い合わせ先
(紛失・盗難・つながらない場合など)

■ドコモの携帯電話からの場合

[+]を画面表示 **-81-3-6832-6600** (無料)

(「+」は「0」をロングタッチします。)

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

滞在国の国際電話
アクセス番号 **-81-3-6832-6600** (有料)

※日本向け通話料がかかります。

※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。



マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、
周囲の方への心くばりを忘れずに。



Li-ion 00



キケン!
水ぬれ充電

販売元 株式会社NTTドコモ
製造元 HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.
'17.1 (1版)